

藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査
アンケート調査結果報告書

2024年(令和6年)3月

藤沢市

目次

第1章 調査概要	1
1 調査の実施概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査対象者.....	1
(3) 調査実施期間.....	1
(4) 調査方法.....	1
(5) 配布・回収状況.....	2
2 アンケート調査の分析について.....	3
(1) アンケート調査の分析の視点.....	3
(2) 「世帯タイプ」の分類.....	3
(3) 「生活困難層」の分類.....	6
(4) 「生活満足度」の分類.....	9
(5) 世帯タイプ・生活困難層・生活満足度の間の関係(分布)について.....	10
3 本報告書の構成と調査結果の見方.....	20
(1) アンケート調査の結果と分析の構成.....	20
(2) アンケート調査の結果の見方.....	20
4 調査結果の要旨.....	22
(1) 保護者・家庭の状況.....	22
(2) 子どもの状況.....	34
第2章 アンケート調査結果(5歳児保護者)	45
(1) あなたの世帯のことについてうかがいます.....	45
(2) お子さんのお母さまとお父さまの職業についてうかがいます.....	49
(3) お子さんのこと、子育てのことについてうかがいます.....	57

(4) あなたのことに <u>ついて</u> うかがいます	98
(5) あなたのご家庭での生活や家計に <u>ついて</u> うかがいます	126
(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験に <u>ついて</u> うかがいます	148
(7) 子育てへの支援に <u>ついて</u> うかがいます	155
第3章 アンケート調査結果(小学生 5 年生保護者)	163
(1) あなたの世帯のことに <u>ついて</u> うかがいます	163
(2) お子さんのお母さまとお父さまの職業に <u>ついて</u> うかがいます	167
(3) お子さんのこと、子育てのことに <u>ついて</u> うかがいます	177
(4) あなたのことに <u>ついて</u> うかがいます	221
(5) あなたのご家庭での生活や家計に <u>ついて</u> うかがいます	250
(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験に <u>ついて</u> うかがいます	275
(7) 子育てへの支援に <u>ついて</u> うかがいます	282
第4章 アンケート調査結果(小学生5年生子ども).....	291
(1) あなたのことに <u>ついて</u> うかがいます	291
(2) あなたのいつもの生活に <u>ついて</u> うかがいます	292
(3) 学校のことや勉強のことに <u>ついて</u> うかがいます	325
(4) あなたがふだん考えていることに <u>ついて</u> うかがいます	338
第5章 アンケート調査結果(中学生2年生保護者)	379
(1) あなたの世帯のことに <u>ついて</u> うかがいます	379
(2) お子さんのお母さまとお父さまの職業に <u>ついて</u> うかがいます	383
(3) お子さんのこと、子育てのことに <u>ついて</u> うかがいます	393
(4) あなたのことに <u>ついて</u> うかがいます	433
(5) あなたのご家庭での生活や家計に <u>ついて</u> うかがいます	464
(6) お子さんのお母さまとお父さまのこれまでのご経験に <u>ついて</u> うかがいます	489
(7) 子育てへの支援に <u>ついて</u> うかがいます	497

第6章 アンケート調査結果(中学生2年生子ども).....	507
(1) あなたのことにについてうかがいます	507
(2) あなたのいつもの生活についてうかがいます	508
(3) 学校のことや勉強のことについてうかがいます	546
(4) あなたがふだん考えていることについてうかがいます	563
参考資料	608

第1章 調査概要

1 調査の実施概要

(1) 調査目的

「子どもと子育て家庭の生活実態調査」アンケート調査(以下、「アンケート調査」という。)は、子育て家庭の所得水準等の経済状況、子どもや子育て家庭の生活状況、子どもの学習状況、子どもや子育て家庭の抱える課題や支援ニーズ等について、多面的に実態把握することを目的としている。

アンケート調査は、別途実施した支援者ヒアリング調査、及び社会資源調査とともに、その調査結果を多角的な視点で分析し、「藤沢市子ども・子育て支援事業計画」及び「藤沢市子ども共育計画」について、令和7年度から5か年の計画を策定するにあたり、子どもと子育て家庭に係る福祉施策・教育施策等の方向性を検討する際の基礎調査とするために実施した。

(2) 調査対象者

- ① 5歳児の子どもを持つ保護者(全数、3,749 件)
- ② 市立小学校及び市立特別支援学校小学部の5年生の児童本人及びその保護者(全数、各 3,913 件)
- ③ 市立中学校及び市立特別支援学校中学部の2年生の生徒本人及びその保護者(全数、各 3,615 件)

(3) 調査実施期間

- ① 2023年(令和5年)9月29日～10月23日(消印有効)
- ② 2023年(令和5年)10月2日～10月23日(消印有効)
- ③ 2023年(令和5年)10月2日～10月23日(消印有効)

(4) 調査方法

- ① 郵送配布・郵送回収
- ② 各学校経由の配布・郵送回収
- ③ 各学校経由の配布・郵送回収

(5) 配布・回収状況

図表 1-1 配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率	有効回答数
5歳児保護者票	3,749 件	2,209 件	58.9%	2,198 件
小中学生保護者票	7,528 件	2,956 件	39.3%	2,941 件
うち、小学生保護者	3,913 件	—	—	1,574 件
うち、中学生保護者	3,615 件	—	—	1,114 件
うち、判別不能	—	—	—	253 件
小学生票	3,913 件	1,647 件	42.1%	1,644 件
中学生票	3,615 件	1,143 件	31.6%	1,143 件

※ 回収率は、回収数を配布数で割った割合。

※ 小学生保護者及び、中学生保護者に対しては、同一の調査票(小中学生保護者票)を用いて調査を行った。そのため、小学生保護者及び中学生保護者については、小学生票、中学生票とデータの紐づけが可能であった調査票数を、有効回答数とし、紐づけができなかった調査票を判別不能とした。

2 アンケート調査の分析について

(1) アンケート調査の分析の視点

本報告書では、5種類の集計(5歳児保護者・小学校5年生子ども・小学校5年生保護者・中学校2年生子ども・中学校2年生保護者)それぞれについて、各設問の単純集計結果を掲載した。

5歳児保護者票・小中学生保護者票では、世帯の状況を尋ねる設問があり、これらを用いて「世帯タイプ別」「生活困難層別」に回答者の世帯を分類し、クロス集計を行った。小学生票、中学生票については、小中学生保護者票と紐づけることで、上記の分類別にクロス集計を行い分析した。加えて、5歳児保護者票、小中学生保護者票、小学生票、中学生票のそれぞれに、生活満足度を尋ねる設問があり、これを用いて「生活満足度別」に回答者を分類し、クロス集計を行った。なお、クロス集計の目的は、「回答者をいくつかのグループに分け、グループによってどのような状況の違いがあるかを分析する」ことである。

それぞれのクロス集計の分類の定義及び分布状況については次項に示すとおりである。

(2) 「世帯タイプ」の分類

世帯タイプは、2019年(平成31年)3月発行の「藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査アンケート調査結果報告書」(以下、「前回調査」という。)と同様の分類方法により、「ひとり親世帯(2世代同居)」、「ひとり親世帯(3世代同居)」、「ふたり親世帯(2世代同居)」、「ふたり親世帯(3世代同居)」の4分類を設けた。

世帯タイプのクロス集計分析は、ひとり親世帯の抱える困難状況を把握する目的で実施した。特に、世帯に大人が1人であると想定される「ひとり親世帯かつ親と子の2世代同居世帯」の状況を把握するために、祖父母との同居の有無を加味したクロス集計の分類としている。

分類には、「宛名のお子さんの同居者」の設問(5歳児保護者票の問3-4、小中学生保護者票の問3-4)と「回答者の現在の婚姻状況」の設問(5歳児保護者票の問20、小中学生保護者票の問14)をそれぞれ用いた。

分類方法は、宛名のお子さんの同居者について「祖母」もしくは「祖父」のいずれかを選択している場合に「3世代同居」とし、「祖母」「祖父」いずれも選択していなければ「2世代同居」とした。また婚姻状況について「離婚(別居中を含む)」「死別」「未婚・非婚」のいずれかを選択している場合に「ひとり親世帯」とし、それ以外の場合に「ふたり親世帯」とした。

図表 1-2 世帯タイプを判定する設問・判定条件

判定に使用する設問	保護者票設問番号		判定条件
	5歳児	小中	
同居家族の子どもからみた続柄	問 3-4	問 3-4	・2世代同居は、「祖母」「祖父」いずれも選択せず ・3世代同居は、「祖母」「祖父」いずれかを選択
回答者の婚姻状況	問 20	問 14	・ふたり親世帯は、「結婚している(事実婚を含む)」を選択 ・ひとり親世帯は、「離婚(別居中を含む)」「死別」「未婚・非婚」を選択

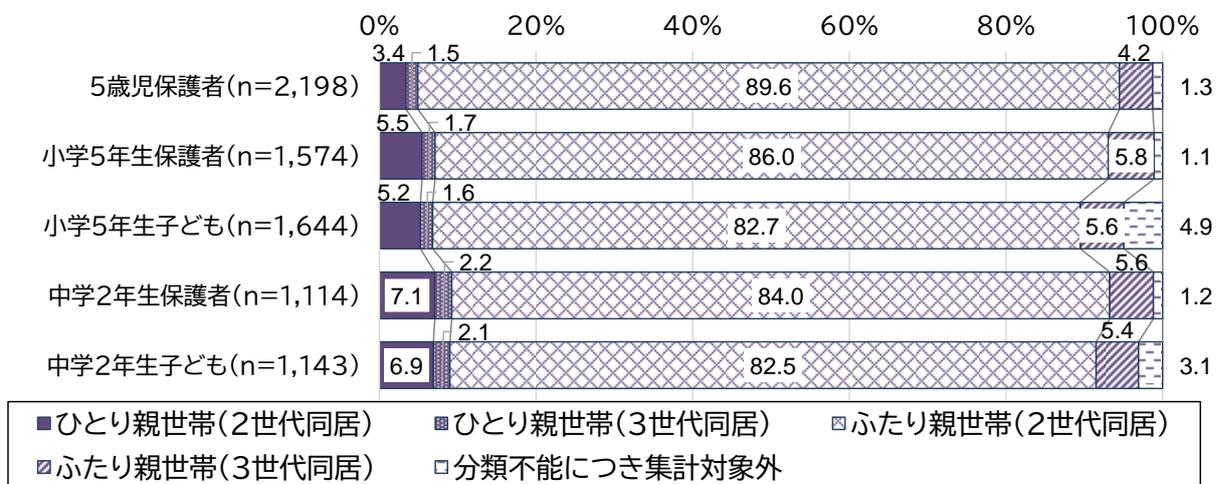
これら2種類の設問への回答による判定を組み合わせ、次のような世帯タイプの分類を行った。

図表 1-3 世帯タイプの分類

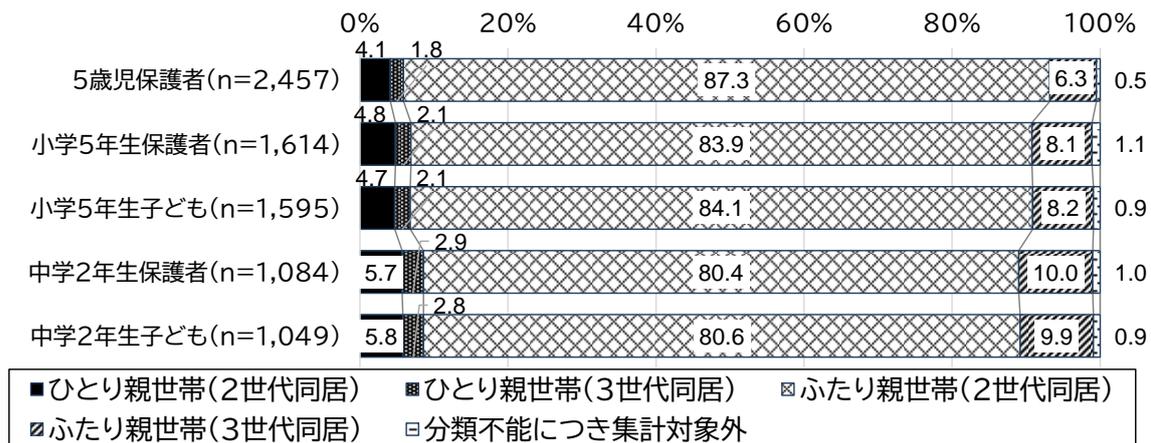
世帯タイプ	同居家族の子どもからみた続柄	回答者の婚姻状況
ひとり親世帯(2世代同居)	「祖母」「祖父」いずれも選択せず	「離婚(別居中を含む)」「死別」「未婚・非婚」を選択
ひとり親世帯(3世代同居)	「祖母」「祖父」いずれかを選択	「離婚(別居中を含む)」「死別」「未婚・非婚」を選択
ふたり親世帯(2世代同居)	「祖母」「祖父」いずれも選択せず	「結婚している(事実婚を含む)」を選択
ふたり親世帯(3世代同居)	「祖母」「祖父」いずれかを選択	「結婚している(事実婚を含む)」を選択

「世帯タイプ別」の分類については、次のような分布となっていた。

図表 1-4 世帯タイプの分布状況(調査対象別)



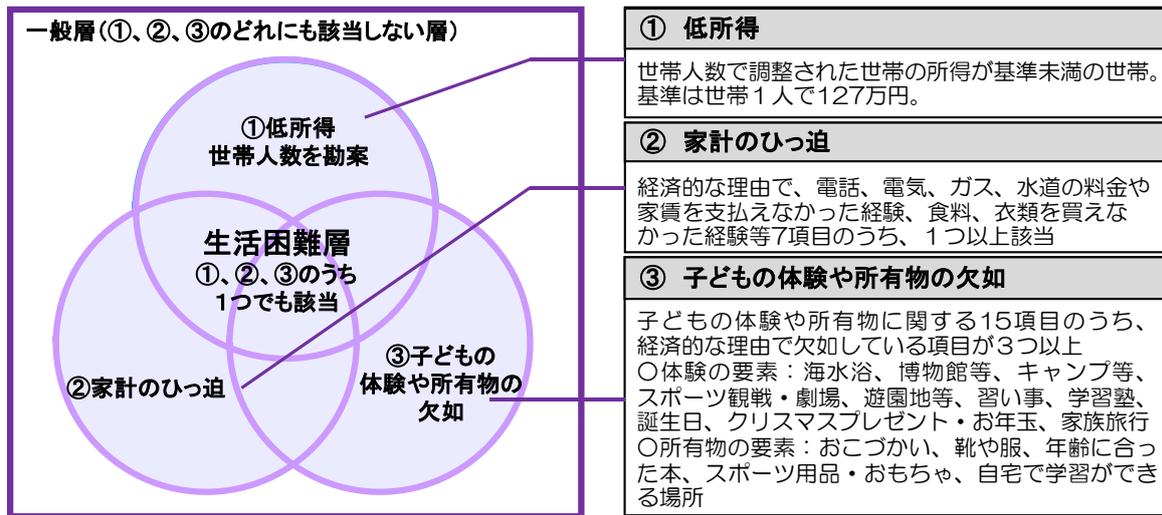
図表 1-5 世帯タイプの分布状況(前回調査)



(3) 「生活困難層」の分類

前回調査では、「子どもの貧困」の状態を把握するにあたって、世帯所得だけでなく、家計のひっ迫や子どもの体験、所有物の欠如といった様々な要因により、「生活困難」の状況にあると考えられる世帯を定義し、分析を行った。本調査においても、前回調査と比較することが可能となるよう調査票を設計し、同様の分類方法により「生活困難層」のクロス集計を行った。

図表 1-6 「生活困難」の把握方法



生活困難層の判定項目は、①低所得、②家計のひっ迫、③子どもの体験や所有物の欠如の3つの要素により構成されている。アンケート調査票(5歳児保護者票・小中学生保護者票)で、「生活困難」の各要素の判定に使用する設問は下表のとおりである。ただし、この判定方法は小学校5年生保護者票・中学校2年生保護者票をもとに作成したため、設問項目が一部異なっている5歳児保護者票とは完全には合致していない点¹に留意が必要である。

図表 1-7 生活困難層を判定する設問・判定条件

3つの要素	保護者票設問番号		設問項目	判定条件
	5歳児	小中		
①低所得	問 3-1	問 3-1	同居人数	次ページの、【低所得の判定基準に関する補足】を参照
	問 32	問 26	世帯の年間収入(可処分所得)	
②家計のひっ迫	問 28	問 22	食料が買えない経験	図表1-6②の7項目のうち 1つ以上該当
	問 29	問 23	衣類が買えない経験	
	問 30	問 24	公共料金等の不払いの有無	
③子どもの体験や所有物の欠如	問 15	問 9	体験の剥奪	図表1-6③の 15 項目のうち、経済的な理由で欠如している項目が3つ以上該当
	問 16	問 10	家庭での経験の剥奪	
	問 17	問 11	経済的理由で世帯にないもの	

¹ 5歳児保護者票では、③子どもの体験や所有物の欠如を判定する項目のうち「学習塾」、「おこづかい」、「自宅で学習ができる場所」を除く12項目を用いた。

【低所得の判定基準に関する補足】

「①低所得」に関する基準は、等価可処分所得²127 万円とした。この基準は、令和4年国民生活基礎調査（調査実施は令和3年）の貧困線になったものである。なお、本調査で把握した世帯の可処分所得は、国民生活基礎調査の可処分所得と把握方法や調査方法が異なる³ため、厳密には、国民生活基礎調査の相対的貧困率と比較することはできない点に留意が必要である。

今回のアンケート調査では、5歳児保護者票の問 32 及び小中学生保護者票の問 26 で世帯の総収入から税金等を引いた手取り収入を質問し、5歳児保護者票の問3-1及び小中学生保護者票の問3-1で世帯の人数を尋ねた。下表は、世帯の可処分所得についての設問の選択肢と、世帯の人数を掛け合わせ、「①低所得」に該当する選択肢の組み合わせを示しており、本報告書の分析で「①低所得」に該当するとした組み合わせを「1」と表示している。⁴

図表 1-8 低所得の判定基準

		同居人数（問3-1の回答）								
		2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人
世帯の年間収入（可処分所得）（問26の回答）		180万円	220万円	254万円	284万円	311万円	336万円	359万円	381万円	402万円
1	0～50万円	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	50～100万円	1	1	1	1	1	1	1	1	1
3	100～150万円	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4	150～200万円	1	1	1	1	1	1	1	1	1
5	200～250万円	0	1	1	1	1	1	1	1	1
6	250～300万円	0	0	1	1	1	1	1	1	1
7	300～350万円	0	0	0	0	1	1	1	1	1
8	350～400万円	0	0	0	0	0	0	1	1	1
9	400～450万円	0	0	0	0	0	0	0	0	1
10	450～500万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	500～550万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	550～600万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	600～650万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14	650～700万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15	700～750万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	750～800万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	800～850万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	850～900万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	900～950万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20	950～1000万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	1000～1100万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	1100～1200万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	1200～万円	0	0	0	0	0	0	0	0	0

² 世帯の可処分所得（世帯の収入から税金・社会保険料等を除いた、いわゆる世帯の手取り収入）を世帯の人数の平方根で除することで、「その世帯の世帯員一人当たりの生活水準」を意味する等価可処分所得となる。

³ 直近に実施された令和4年（2022 年）国民生活基礎調査における貧困線（等価可処分所得の中央値の半分）は、2015 年に改訂された OECD の所得定義の新たな基準により算出されている。旧基準の可処分所得は、所得から所得税、住民税、社会保険料及び固定資産税を差し引いたもの、新基準の可処分所得は、所得から所得税、住民税、社会保険料、固定資産税、自動車税・軽自動車税・自動車重量税、企業年金の掛金及び仕送り額を差し引いたものである。

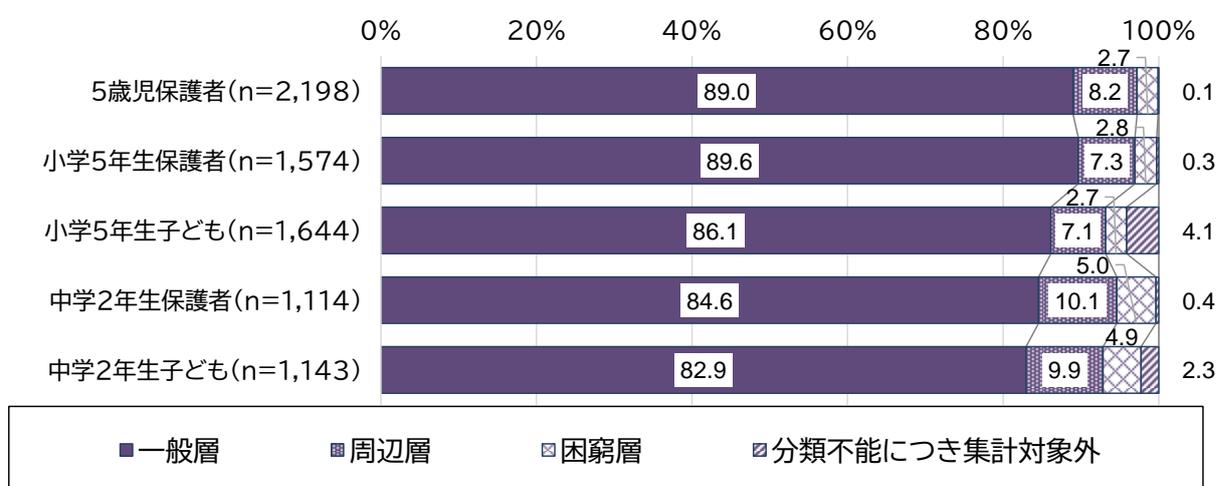
⁴ 数式から算出する世帯の人数別の「低所得」基準額が細かい値となるのに対して、本調査の世帯の可処分所得に関する設問は 50 万円ごと（1,000 万円以上は 100 万円ごと）の区切りで尋ねており、世帯の可処分所得を厳密に把握することはできない。そのため本報告書では、基準額をその範囲内に含む選択肢（世帯の人数が2人なら、基準額 180 万円を範囲に含んでいる「150～200 万円」の選択肢）までを「低所得」に該当するものとした。したがって、理論上よりも多くの回答者を「低所得」と判定している可能性がある（例えば、実際の可処分所得が 190 万円の2人世帯は、理論上は「低所得」に該当しないが、本報告書の分析では該当すると判定している）点に留意が必要である。

本報告書では、上記の「生活困難」の判定要素(①低所得、②家計のひっ迫、③子どもの体験や所有物の欠如)のうち、いずれにも該当しない層を「一般層」、いずれか1つのみに該当する層を「周辺層」、2つ以上に該当する層を「困窮層」として、3層に分類し、クロス集計に使用した。なお、「周辺層」と「困窮層」をまとめて「生活困難層」と呼ぶことがある。

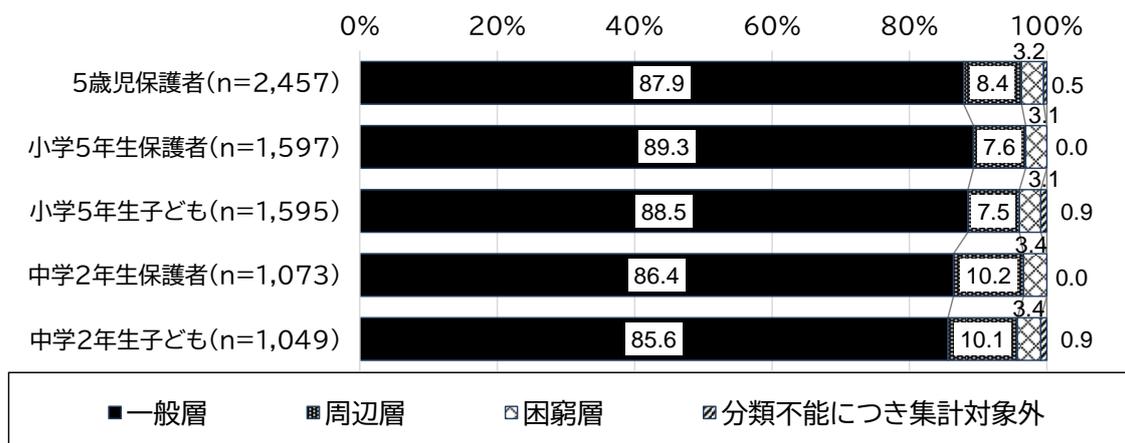
また、「生活困難度」という言葉を用いて、「生活困難」の度合いが一般層、周辺層、困窮層の順に高くなるということを指し示すこととする。

「生活困難層別」の分類については、次のような分布となっていた。

図表 1-9 生活困難層の分布状況(調査対象別)



図表 1-10 生活困難層の分布状況(前回調査)



(4) 「生活満足度」の分類

本調査では、子どもや保護者の現在の「ウェルビーイング⁵」の状態を把握するための設問として、最近の生活にどのくらい満足しているかを尋ねた「生活満足度」の設問を新たに設置した。

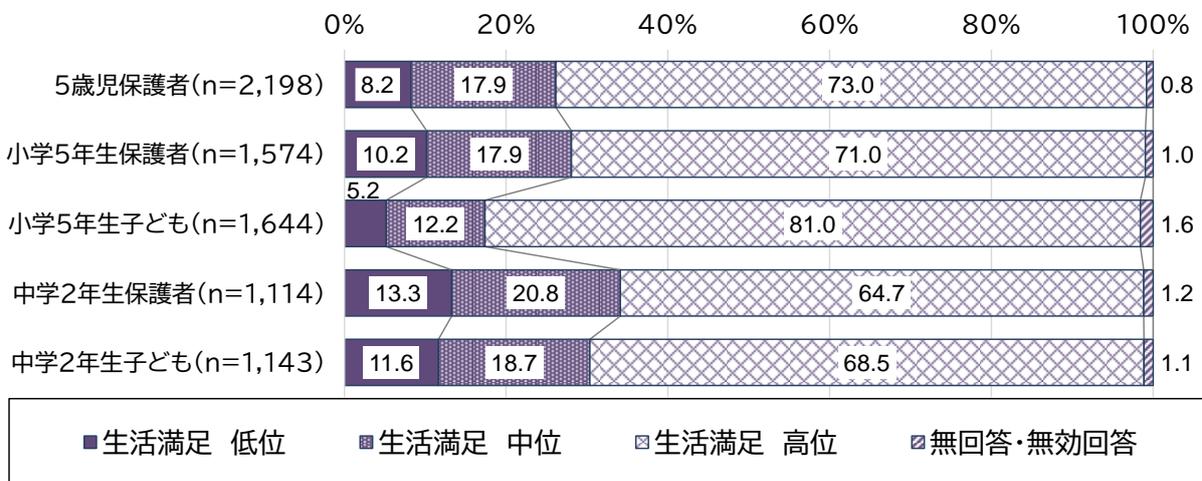
保護者票、子ども票それぞれの「生活満足度」に関する設問を分析軸として設定し、クロス集計を行った。生活満足度の回答は、まったく満足していない(0)から十分に満足している(10)までの 11 段階である。本調査においては、満足度の0～4点を「生活満足 低位」、5・6点を「中位」、7～10 点を「高位」として区分し、集計した。

図表 1-11 生活満足度の該当設問

調査票	生活満足度の設問番号
5歳児保護者	問 23
小中学生保護者	問 19
小学5年生	問 23
中学2年生	問 24

「生活満足度別」の分類については、次のような分布となっていた。

図表 1-12 生活満足度の分布状況(調査対象別)



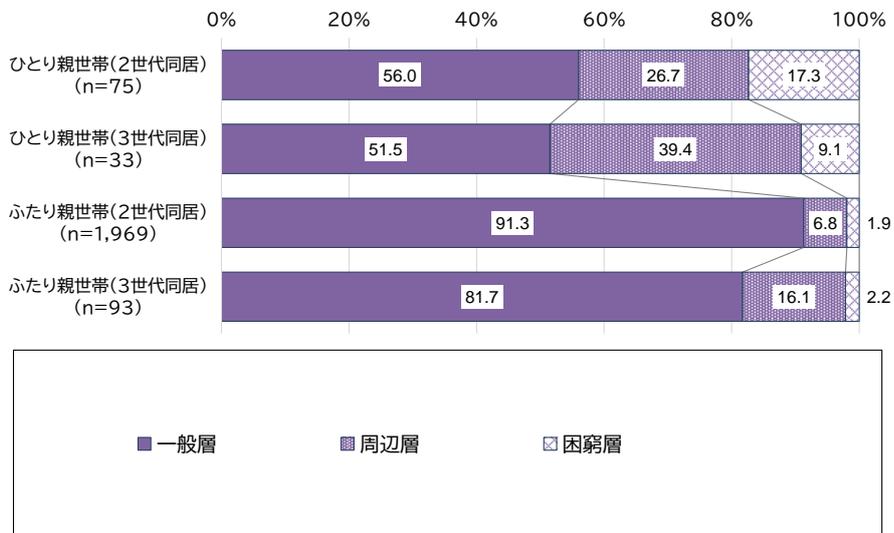
⁵ 「ウェルビーイング」とは、身体的・精神的・社会的に幸せな状態にあることを指す。また、ウェルビーイングは、包括的な幸福として、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義など生涯にわたる持続的な幸福を含む。「はじめの 100 か月の育ちビジョン」(こども家庭庁、2023 年 12 月)では、「このようなウェルビーイングの向上を、権利行使の主体としてのこども自身が、主体的に実現していく視点が重要である。なお、ウェルビーイングは、生涯にわたる全ての時期を通じて高めることが重要であり、こどもとともに育つおとなにとっても重要なものである。」としている。

(5) 世帯タイプ・生活困難層・生活満足度の間の関係(分布)について

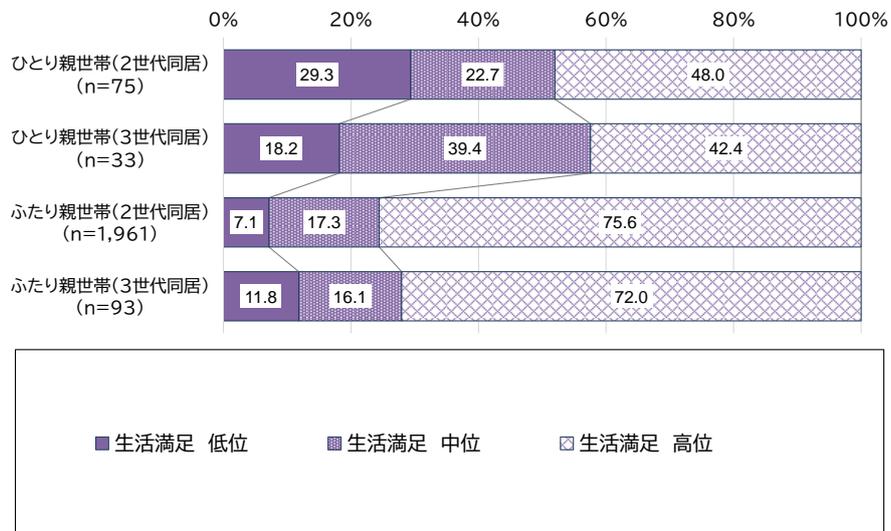
参考として、世帯タイプ・生活困難層・生活満足度の分類の間の関係(分布)は次のとおりとなっている。

【5歳児保護者について】

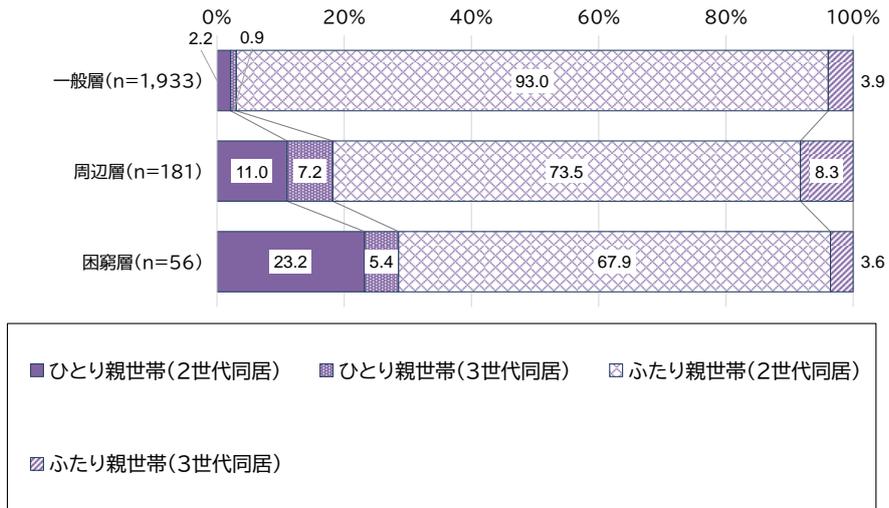
図表 1-13 世帯タイプ×生活困難層の分布(5歳児保護者)



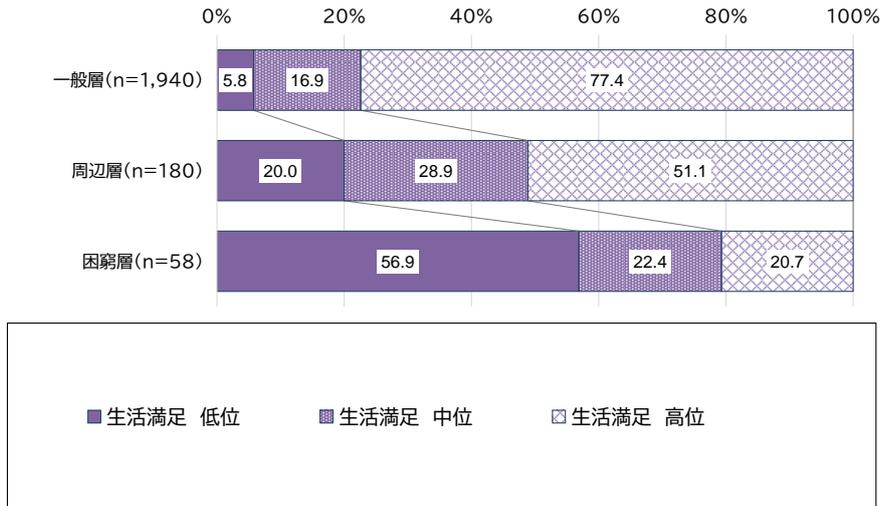
図表 1-14 世帯タイプ×生活満足度の分布(5歳児保護者)



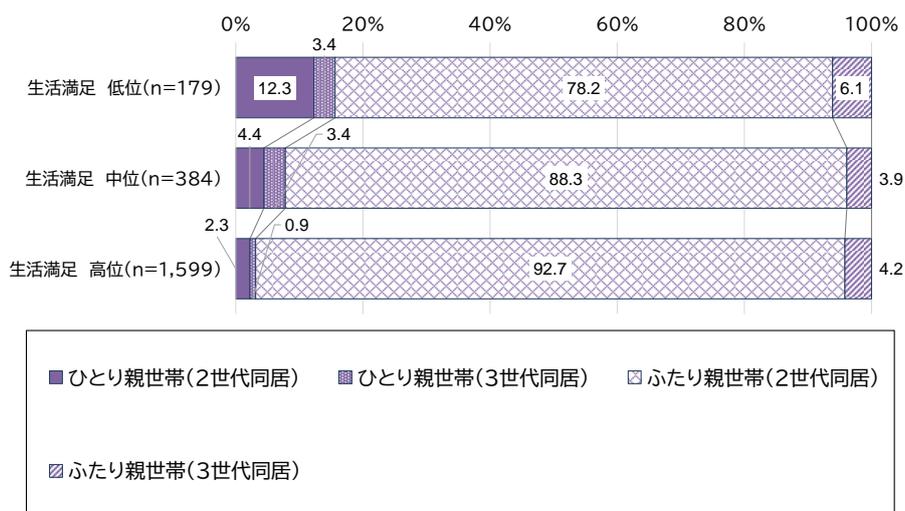
図表 1-15 生活困難層×世帯タイプの分布(5歳児保護者)



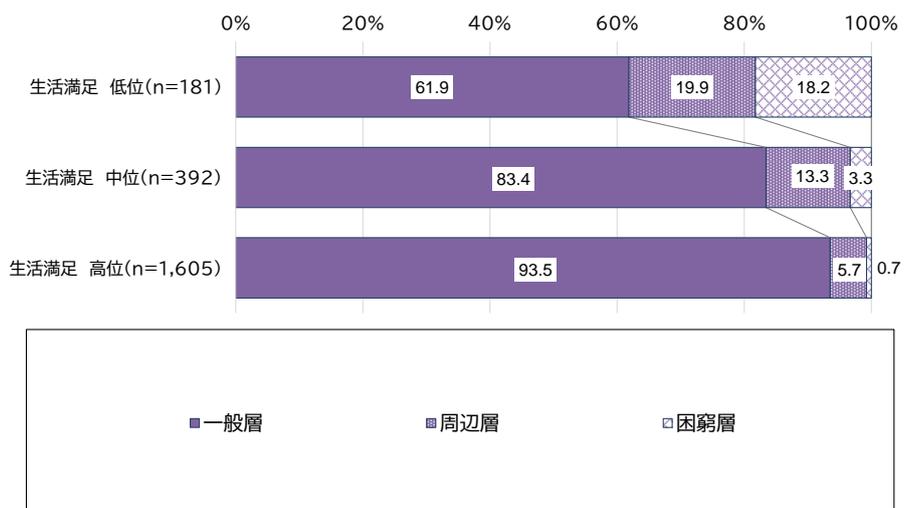
図表 1-16 生活困難層×生活満足度の分布(5歳児保護者)



図表 1-17 生活満足度×世帯タイプの分布(5歳児保護者)

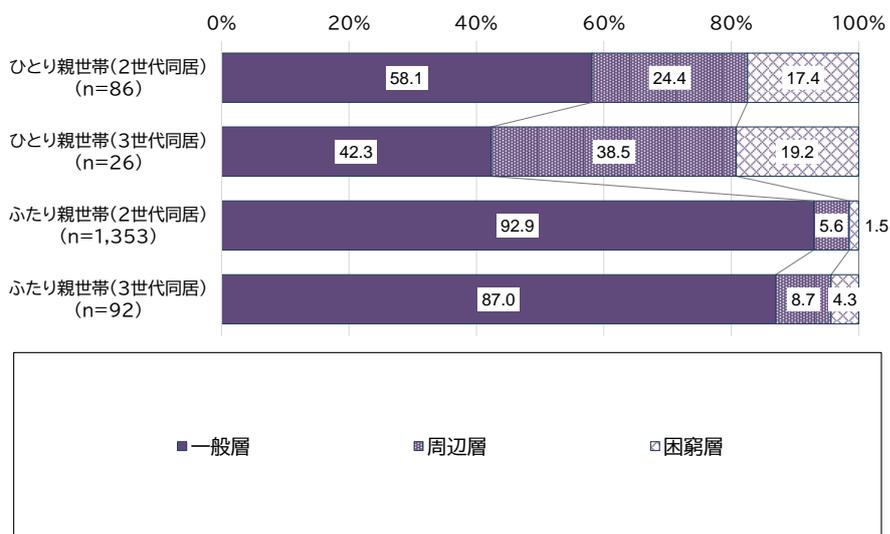


図表 1-18 生活満足度×生活困難層の分布(5歳児保護者)

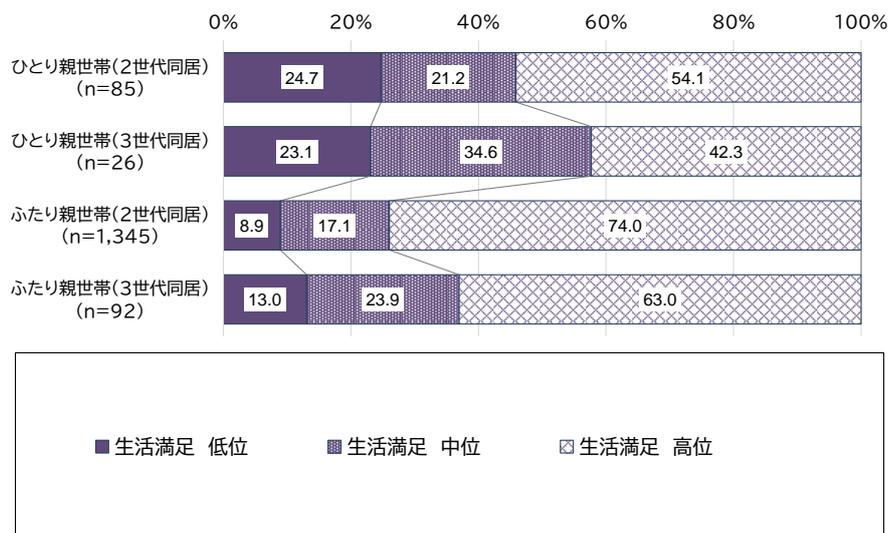


【小学5年生保護者について】

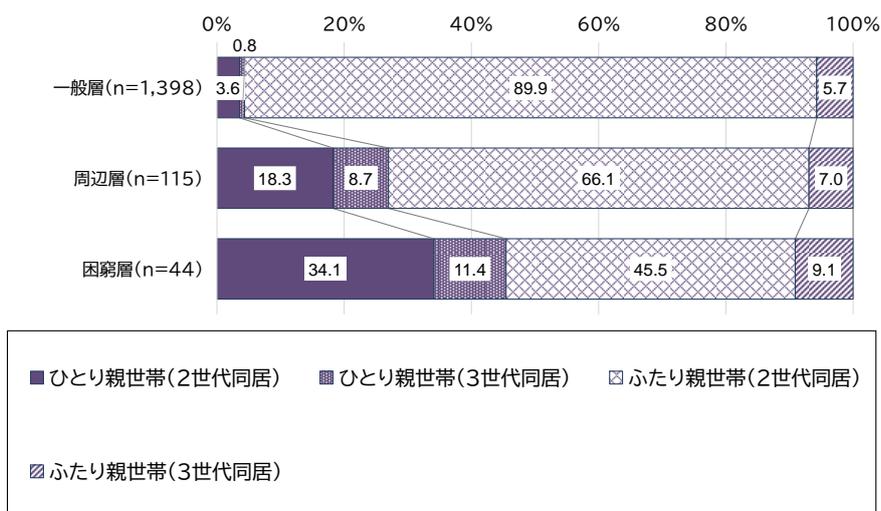
図表 1-19 世帯タイプ×生活困難層の分布(小学5年生保護者)



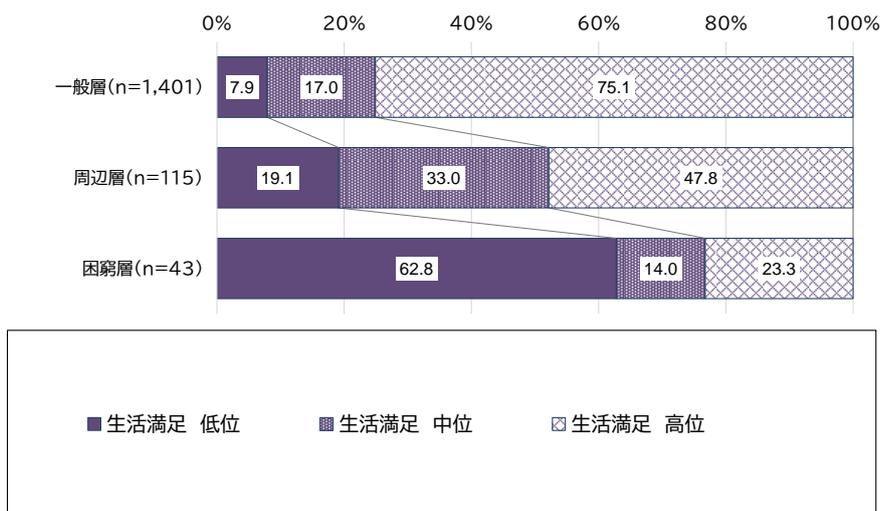
図表 1-20 世帯タイプ×生活満足度の分布(小学5年生保護者)



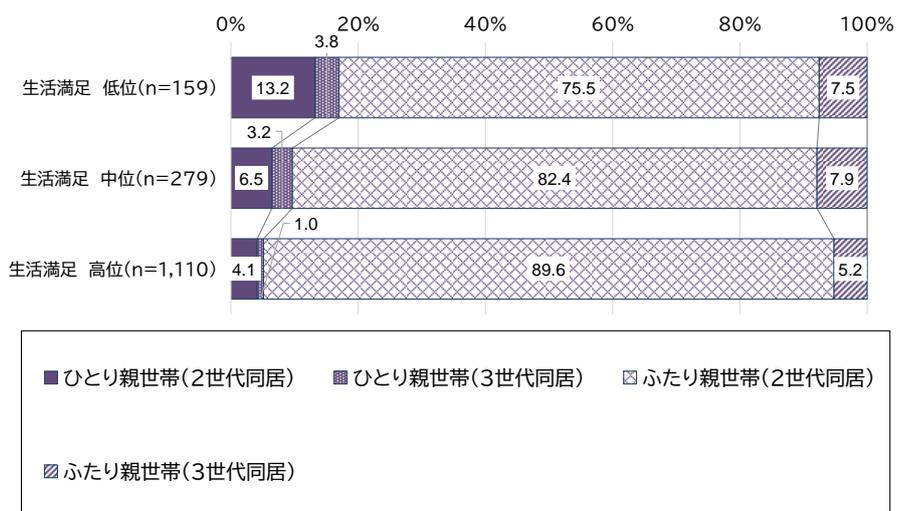
図表 1-21 生活困難層×世帯タイプの分布(小学5年生保護者)



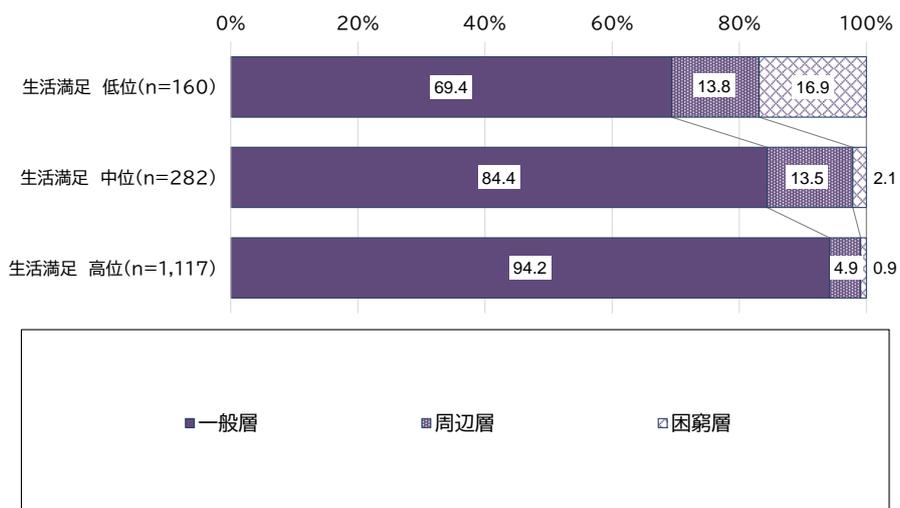
図表 1-22 生活困難層×生活満足度の分布(小学5年生保護者)



図表 1-23 生活満足度×世帯タイプの分布(小学5年生保護者)

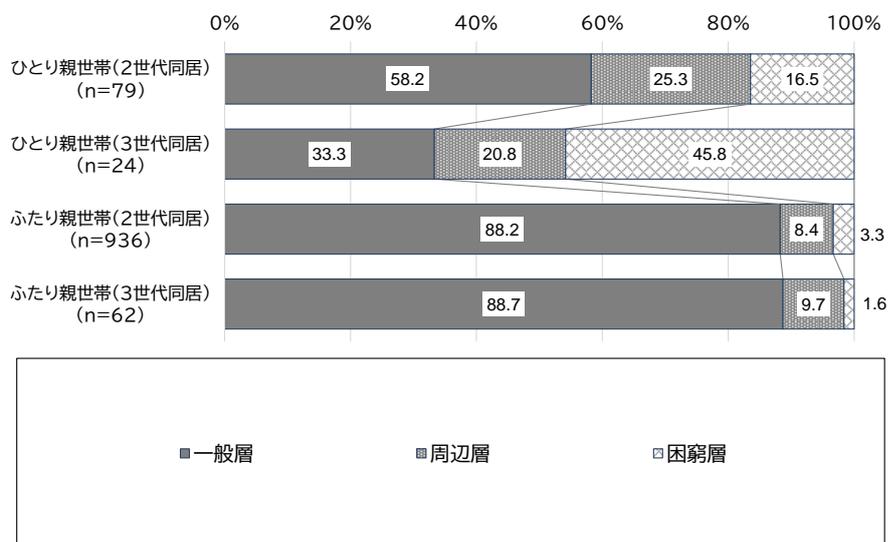


図表 1-24 生活満足度×生活困難層の分布(小学5年生保護者)

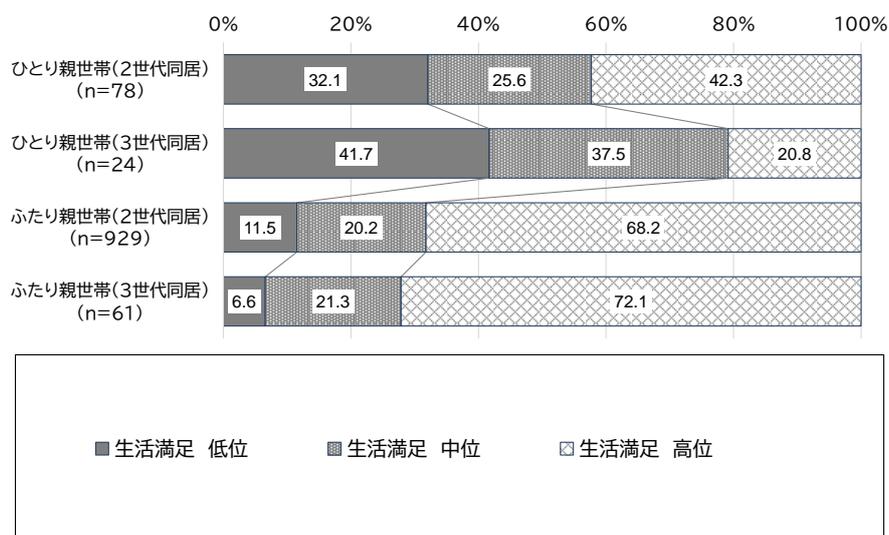


【中学2年生保護者について】

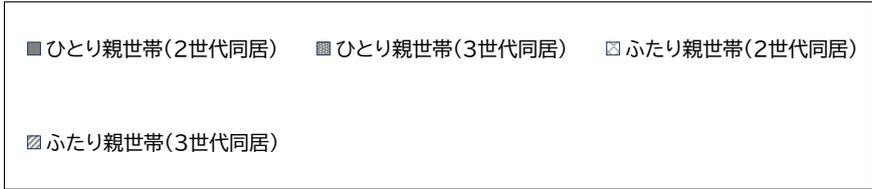
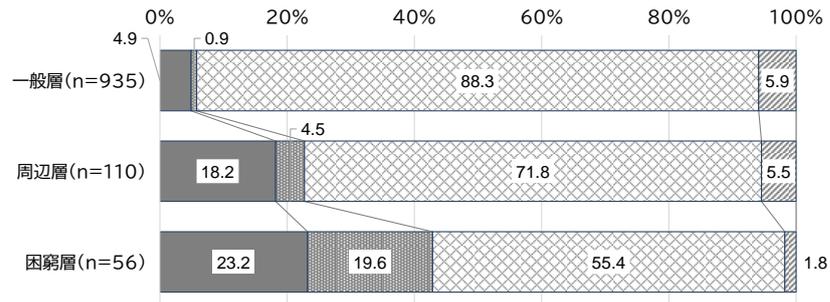
図表 1-25 世帯タイプ×生活困難層の分布(中学2年生保護者)



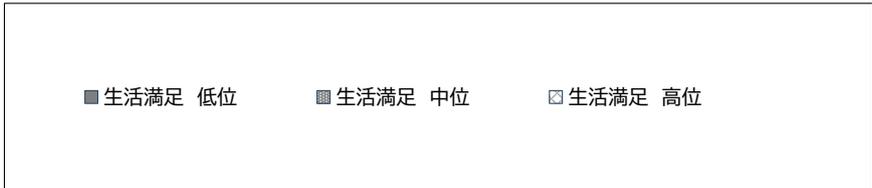
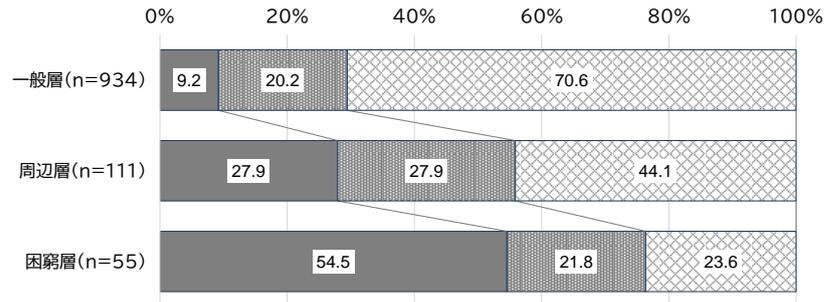
図表 1-26 世帯タイプ×生活満足度の分布(中学2年生保護者)



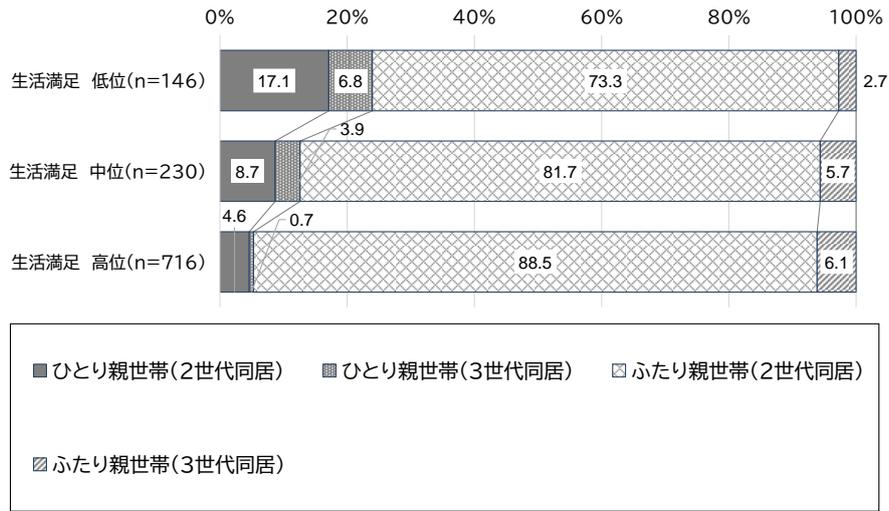
図表 1-27 生活困難層×世帯タイプの分布(中学2年生保護者)



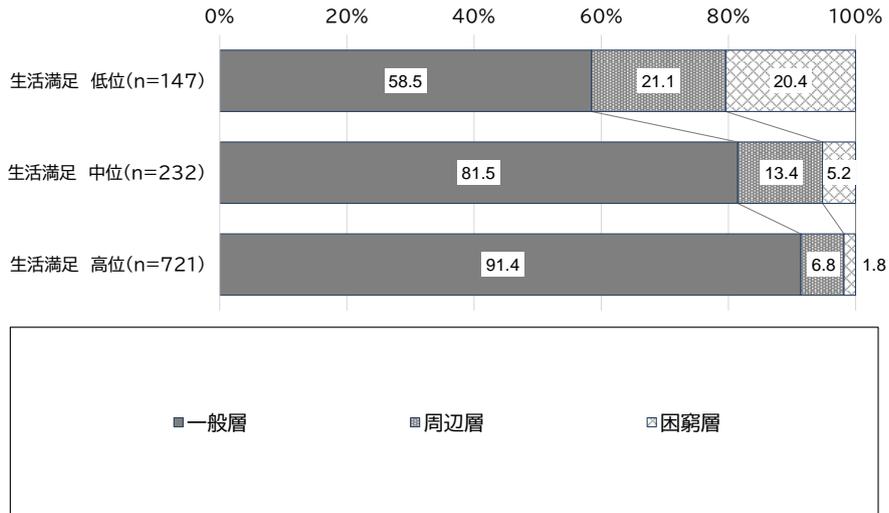
図表 1-28 生活困難層×生活満足度の分布(中学2年生保護者)



図表 1-29 生活満足度×世帯タイプの分布(中学2年生保護者)

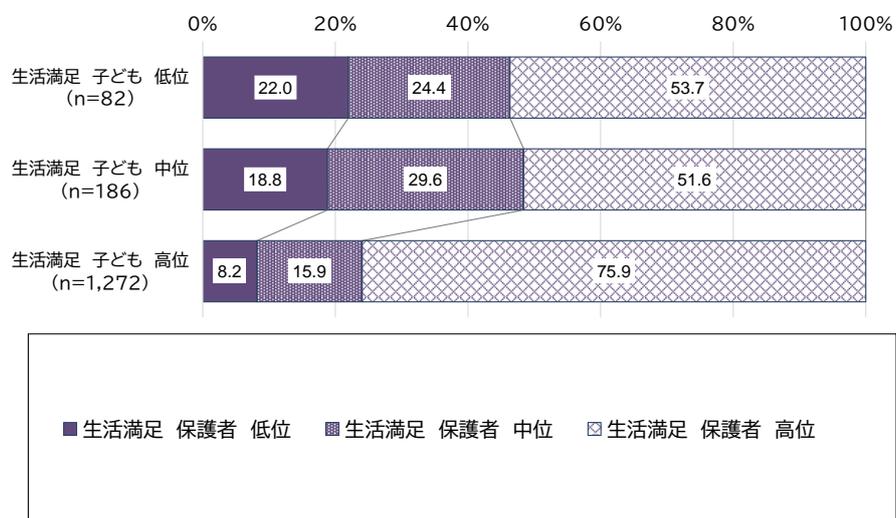


図表 1-30 生活満足度×生活困難層の分布(中学2年生保護者)



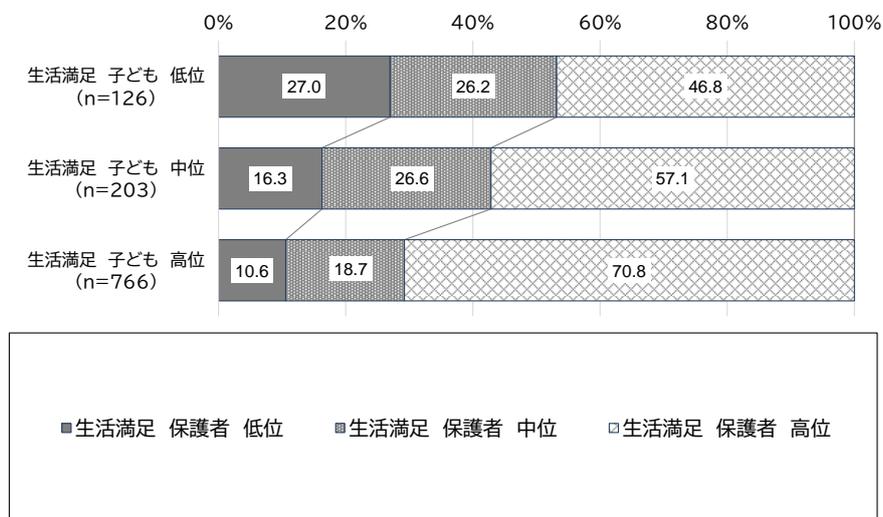
【小学5年生子どもについて】

図表 1-31 生活満足度(子ども)×生活満足度(保護者)の分布(小学5年生)



【中学2年生子どもについて】

図表 1-32 生活満足度(子ども)×生活満足度(保護者)の分布(中学2年生)



3 本報告書の構成と調査結果の見方

(1) アンケート調査の結果と分析の構成

本報告書の第2章以降の構成として、第2章で5歳児保護者票の調査結果、第3章で小中学生保護者票のうち小学5年生保護者に該当する調査結果、第4章で小学5年生子ども票の結果、第5章で小中学生保護者票のうち中学2年生保護者に該当する調査結果、第6章で中学2年生子ども票の結果を掲載した。

各章では、該当する調査票の設問順を踏襲した順番で、設問項目ごとに単純集計結果を掲載している。加えて、部分的に、前回調査との経年比較と、クロス集計結果を掲載している。経年比較については、前回調査結果と比較可能な項目で特筆する変化が見られた集計結果の中から抜粋して掲載した。クロス集計結果については、「回答者をいくつかのグループに分け、グループによってどのような状況の違いがあるかを分析する」というクロス集計の目的に則して、「グループによって状況に違いがある」集計結果を中心に抜粋して掲載した。クロス集計結果で、「状況に違いがある」かどうかの判断には、クロス集計結果に対して χ (カイ)2乗検定(互いの要素に重複のない分類同士を比べて分布に違いがあるかどうかを調べる統計的手法)⁶を行った結果を補助的に用いている。

(2) アンケート調査の結果の見方

- 図(グラフ)の中で使用されている「n=」は、その設問に対する回答者数を示す。
- 設問の中には単一回答の質問(選択肢の中から1つ回答を選ぶ質問)、複数回答の質問(選択肢の中から該当するものを複数選択する質問)、数値を回答する質問、自由に回答を記述する質問がある。
- 回答の比率は、その設問の回答者数を基数(件数)として算出している。したがって、複数回答の設問の場合、全ての比率を合計すると100%を超える場合がある。
- 回答の比率は選択肢ごとに小数点第2位で四捨五入しているため、その割合の合計が100.0%にならない場合がある。また、設問に無回答であった場合も含めて集計を行った割合を示している。
- 数値回答の質問は、前回調査を参考に集計単位をカテゴリー化して回答を集計している。自由記述による回答は、回答内容に基づき分類・整理をし、分類別の件数を集計した。ひとりの方が複数の分類にまたがる内容を回答している場合には、それぞれの分類でカウントしている。なお、回答の一部を要約・抜粋により掲載しているものがあるため、全ての回答の内容を網羅しているわけではない。また、回答者の意見は基本的には原文のまま掲載しているが、部分的に、誤字や脱字の修正、文末表現の統一、()書きでの補記を行った。
- 前回調査(2019年(平成31年)3月発行の「藤沢市子どもと子育て家庭の生活実態調査アンケート調査結果報告書」と今回調査の比較を行っている箇所)で、一部各調査票における選択肢の文言が完全には一致しないものがある。
- 図表において、回答の選択肢表記を簡略化している場合がある。

⁶ 本調査に関する χ (カイ)2乗検定の補足的な説明と検定の結果については集計表を参照。

- 第2章の5歳児保護者問 22、第3章の小学5年生保護者問 16、第5章の中学2年生保護者問 16では、過去1か月間のこころの状態を質問しており、その回答結果をもとに「K6」の尺度得点を算出している。なお、K6 は、国の国民生活基礎調査で「こころの状態」を把握する指標として用いられている。K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、一般住民を対象とした調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として広く利用されている。「神経過敏に感じましたか」「絶望的だと感じましたか」「そろそろ、落ち着かなく感じましたか」「気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか」「何をするのも骨折りだと感じましたか」「自分は価値のない人間だと感じましたか」の6つの質問について5段階（「まったくない」(0点)、「少しだけ」(1点)、「ときどき」(2点)、「たいてい」(3点)、「いつも」(4点)）で点数化する。合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があると考えられている。

4 調査結果の要旨

本報告書の第2章から第6章の各章を、(1)保護者や家庭に関する状況と、(2)子どもの状況に分けて、調査要旨を掲載した。

(1)保護者・家庭の状況は、第2章の5歳児保護者票のうち保護者自身や家庭に該当する調査結果、第3章の小学5年生保護者の調査結果、第5章の中学2年生保護者の調査結果を、調査項目別に整理した。(2)子どもの状況は、第2章の5歳児保護者票のうち5歳児の子どもの状況に該当する調査結果、第4章の小学5年生子ども票の調査結果、第6章の中学2年生子ども票の調査結果を、調査項目別に掲載した。

【 】内には、該当する調査名称と設問番号を示している。例えば、【5歳児保護者問4】は、第2章の5歳児保護者調査の問4の結果を要約している。

(1) 保護者・家庭の状況

ア 世帯の生活状況

(ア) 母親の就業状況

- 5歳児の母親では、「勤め(常勤・正規職員)」が35.6%、「専業主婦」が26.3%。前回調査と比較すると、「勤め(常勤・正規職員)」と回答した割合は11.3ポイント増加し、「専業主婦」と回答した割合は14.8ポイント減少。ひとり親世帯(2世代同居)(n=72)では、「勤め(常勤・正規職員)」が45.8%と最も多く、困窮層(n=58)では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が36.2%と最も多い。【5歳児保護者問4】
- 小学5年生の母親では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が38.6%と最も多く、「勤め(常勤・正規職員)」が25.6%、「専業主婦」が23.2%。ひとり親世帯(2世代同居)(n=71)では、「勤め(常勤・正規職員)」が45.1%と最も多く、困窮層(n=41)では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が53.7%と最も多い。【小学5年生保護者問4】
- 中学2年生の母親では、「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」が46.4%と最も多く、「勤め(常勤・正規職員)」が23.9%、「専業主婦」が17.4%。前回調査と比較すると、「勤め(常勤・正規職員)」と回答した割合は5.7ポイント増加。ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)では、「勤め(常勤・正規職員)」が47.8%と最も多い。【中学2年生保護者問4】

(イ) 母親の平日の日中以外の出社勤務の有無

- 小学5年生の働いている母親で、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」と回答した割合は、全体が48.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=64)で37.5%、困窮層(n=33)では、24.2%、生活満足 低位(n=119)では34.5%。【小学5年生保護者問4-1】
- 中学2年生の働いている母親で、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」と回答した割合は、全体が42.8%、困窮層(n=42)では26.2%。【中学2年生保護者問4-1】

(ウ) 父親の就業状況

- 5歳児の父親では、「勤め(常勤・正規職員)」が87.3%。困窮層(n=44)では、「勤め(常勤・正規職員)」が68.2%。【5歳児保護者問5】
- 小学5年生の父親では、勤め(常勤・正規職員)」が88.0%。困窮層(n=27)では、「勤め(常勤・正規職員)」が66.7%。【小学5年生保護者問5】
- 中学2年生の父親では、「勤め(常勤・正規職員)」が86.8%。困窮層(n=37)では、「勤め(常勤・正規職員)」が56.8%【中学2年生保護者問5】

(エ) 父親の平日の日中以外の出社勤務の有無

- 小学5年生の働いている父親で、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」と回答した割合は、39.7%。【小学5年生保護者問5-1】
- 中学2年生の働いている父親で、「平日の日中以外の出社(自宅の外)での勤務はない」と回答した割合は、39.2%。【中学2年生保護者問5-1】

(オ) 婚姻状況・養育費

- 5歳児保護者では、「結婚している(事実婚を含む)」が94.5%、困窮層(n=59)では69.5%、生活満足 低位(n=181)では84.5%。【5歳児保護者問20】
「離婚(別居中を含む)」と回答した方に、子どもの養育費の取り決めについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の回答が41.4%。【5歳児保護者問20-1】
- 小学5年生保護者では、「結婚している(事実婚を含む)」が92.1%。困窮層(n=44)では54.5%。【小学5年生保護者問14】
「離婚(別居中を含む)」と回答した方に、子どもの養育費の取り決めについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の回答が48.4%。【小学5年生保護者問14-1】
- 中学2年生保護者では、「結婚している(事実婚を含む)」が90.2%、困窮層(n=56)では57.1%、生活満足 低位(n=148)では75.7%。【中学2年生保護者問14】
「離婚(別居中を含む)」と回答した方に、子どもの養育費の取り決めについて尋ねたところ、「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の回答が39.6%。【中学2年生保護者問14-1】

(カ) 介護・介助が必要な方の有無

- 5歳児保護者では、同居家族に介護または介助が必要な方の有無について、全体では、「いる」が2.3%、困窮層(n=59)では、「いる」が8.5%。【5歳児保護者問3-2】
- 小学5年生保護者では、全体では「いる」が3.4%、困窮層(n=44)では、「いる」が13.6%。【小学5年生保護者問3-2】
- 中学2年生保護者では、全体では「いる」が3.9%。【中学2年生保護者問3-2】

(キ) 子育ての中でしていること

a. お子さんと一緒にからだを使った運動をする

- 5歳児保護者が、「お子さんと一緒にからだを使った運動をする」に「あてはまる」と回答した割合は、全体では 27.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では 13.3%、困窮層(n=59)では 10.2%、生活満足 低位(n=181)では 13.8%。【5歳児保護者問 14B】

b. お子さんに、絵本の読み聞かせをしている

- 5歳児保護者が、「お子さんに、絵本の読み聞かせをしている」に「あてはまらない」と回答した割合は、全体では 13.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では 28.0%、困窮層(n=59)では 37.3%、生活満足 低位(n=181)では 27.6%。【5歳児保護者問 14I】

c. お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする

- 小学5年生保護者では、「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」ことについて、「あてはまる」が全体では 75.8%、生活満足 低位(n=160)では 64.4%。【小学5年生保護者問 6A】
- 中学2年生保護者では、「お子さんと、学校での出来事、友だちのことについて話をする」ことについて、「あてはまる」が全体では 62.7%、生活満足 低位(n=148)では 49.3%。【中学2年生保護者問 6A】

d. お子さんの勉強をみる

- 小学5年生保護者では、「お子さんの勉強をみる」ことについて、「あてはまる」が全体では 47.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 34.9%、困窮層(n=44)では 38.6%、生活満足 低位(n=160)では 33.1%。【小学5年生保護者問 6B】
- 中学2年生保護者では、「お子さんの勉強をみる」ことについて、「あてはまる」と回答した割合は全体では 19.7%。前回調査と比較すると、「あてはまる」と回答した割合は 5.1 ポイント減少。【中学2年生保護者問 6B】

e. お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする

- 小学5年生保護者では、「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」ことについて、「あてはまる」が全体では 59.1%で、前回調査と比較すると、「あてはまる」と回答した割合は 8.9 ポイント増加。困窮層(n=44)では「あてはまる」と回答した割合は 40.9%、生活満足 低位(n=160)では 45.6%。【小学5年生保護者問 6D】
- 中学2年生保護者では、「お子さんと、勉強や成績のこと、将来や進路についての話をする」ことについて、「あてはまる」と回答した割合は全体では 55.9%、困窮層(n=56)では 44.6%、生活満足 低位(n=148)では 43.9%【中学2年生保護者問 6D】

(ク) 子どもの発達に関する医師の診断

- 5歳児の子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがある割合は7.6%。
【5歳児保護者問12】
- 医師の診断結果について尋ねたところ、全体では「発達障がい」が44.0%と最も多く、「知的な遅れ」が27.7%。【5歳児保護者問12-1】
- 小学5年生の子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがある割合は7.8%。【小学5年生保護者問8】
- 医師の診断結果について尋ねたところ、「発達障がい」が41.5%と最も多く、「知的な遅れ」が23.6%、「身体障がい」が5.7%であった。前回調査と比較すると、「知的な遅れ」と回答した割合は12.1ポイント増加した。【小学5年生保護者問8-1】
- 中学2年生の子どもの発達に関して、これまでに何らかの医師の診断を受けたことがある割合は8.4%。【中学2年生保護者問8】
- 医師の診断結果について尋ねたところ、「発達障がい」が56.4%と最も多く、「知的な遅れ」が23.4%、「身体障がい」が8.5%であった。前回調査と比較すると、「発達障がい」と回答した割合は28.1ポイント増加、「知的な遅れ」と回答した割合は16.3ポイント増加した。【中学2年生保護者問8-1】

(ケ) 家庭での経験の剥奪

a. 毎年新しい洋服・靴を買う

- 5歳児保護者では、「毎年新しい洋服・靴を買う」について、全体では「している」が96.3%。困窮層(n=59)では、「経済的にできない」が32.2%。【5歳児保護者問16A】
- 小学5年生保護者では、「毎年新しい洋服・靴を買う」について、全体では「している」が96.3%。困窮層(n=44)では、「経済的にできない」が27.3%。【小学5年生保護者問10B】
- 中学2年生保護者では、「毎年新しい洋服・靴を買う」について、全体では「している」が94.4%。困窮層(n=56)では、「経済的にできない」が23.2%。【中学2年生保護者問10B】

b. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる

- 5歳児保護者では、「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」ことについて、「経済的にできない」が4.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では21.3%、困窮層(n=59)では69.5%、生活満足 低位(n=181)では20.4%。【5歳児保護者問16B】
- 小学5年生保護者では、「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」ことについて、「経済的にできない」が2.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では10.5%、困窮層(n=44)では47.7%、生活満足 低位(n=160)では8.8%。【小学5年生保護者問10C】
- 中学2年生保護者では、「習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる」ことについて、「経済的にできない」が6.3%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では16.5%、困窮層(n=56)では48.2%、生活満足 低位(n=148)では20.3%。【中学2年生保護者問10C】

c. 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)

- 小学5年生保護者では、「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」ことについて、「経済的にできない」が 6.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 17.4%、困窮層(n=44)では 63.6%、生活満足 低位(n=160)では 21.3%。【小学5年生保護者問 10D】
- 中学2年生保護者では、「学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)」ことについて「経済的にできない」が 6.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 19.0%、困窮層(n=56)では 55.4%、生活満足 低位(n=148)では 21.6%。【中学2年生保護者問 10D】

d. 1年に1回くらい家族旅行に行く

- 5歳児保護者では、「1年に1回くらい家族旅行に行く」について「経済的にできない」が 6.6%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では 28.0%、困窮層(n=59)では 76.3%、生活満足 低位(n=181)では 27.1%。【5歳児保護者問 16D】
- 小学5年生保護者では、「1年に1回くらい家族旅行に行く」について「経済的にできない」が 5.7%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 18.6%、困窮層(n=44)では 65.9%、生活満足 低位(n=160)では 19.4%。【小学5年生保護者問 10F】
- 中学2年生保護者では、「1年に1回くらい家族旅行に行く」について「経済的にできない」が 10.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 25.3%、困窮層(n=56)では 71.4%、生活満足 低位(n=148)では 32.4%。【中学2年生保護者問 10F】

(コ) 経済的理由で世帯にないもの

- 5歳児保護者では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」がないと回答した割合は 6.6%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では 21.3%、困窮層(n=59)では 67.8%、生活満足 低位(n=181)では 27.1%。【5歳児保護者問 17】
- 小学5年生保護者では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」がないと回答した割合は 5.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 15.1%、困窮層(n=44)では 61.4%、生活満足 低位(n=160)では 22.5%。【小学5年生保護者問 11】
- 中学2年生保護者では、「急な出費のための貯金(5万円以上)」がないと回答した割合は 6.7%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 15.2%、困窮層(n=56)では 62.5%、生活満足 低位(n=148)では 20.9%。【中学2年生保護者問 11】

(サ) 暮らしの状況

- 5歳児保護者では、現在の暮らしの認識について、「大変苦しい」と回答した割合は、全体が 5.6%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では 24.0%、困窮層(n=59)では 67.8%、生活満足 低位(n=181)では 32.6%。【5歳児保護者問 26】
- 小学5年生保護者では、現在の暮らしの認識について、「大変苦しい」と回答した割合は、全体で 5.5%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 20.9%、困窮層(n=44)では 65.9%、生活満足 低位(n=160)では 31.9%。【小学5年生保護者問 20】

- 中学2年生保護者では、現在の暮らしの認識について、「大変苦しい」と回答した割合は、全体で8.3%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では24.1%、困窮層(n=56)では64.3%、生活満足低位(n=148)では32.4%。【中学2年生保護者問20】

(シ) 食料が買えない経験

- 5歳児保護者では、お金が足りなくて食料が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は91.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では78.7%、困窮層(n=59)では27.1%、生活満足低位(n=181)では69.6%。【5歳児保護者問28】
- 小学5年生保護者では、お金が足りなくて食料が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は92.7%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では75.6%、困窮層(n=44)では29.5%、生活満足低位(n=160)では73.8%。【小学5年生保護者問22】
- 中学2年生保護者では、お金が足りなくて食料が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は89.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では75.9%、困窮層(n=56)では16.1%、生活満足低位(n=148)では66.9%。【中学2年生保護者問22】

(ス) 衣類が買えない経験

- 5歳児保護者では、お金が足りなくて衣類が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は88.8%、困窮層(n=59)では13.6%、生活満足低位(n=181)では63.5%。【5歳児保護者問29】
- 小学5年生保護者では、お金が足りなくて衣類が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は91.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では73.3%、困窮層(n=44)では18.2%、生活満足低位(n=160)では66.9%。【小学5年生保護者問23】
- 中学2年生保護者では、お金が足りなくて衣類が買えなかった経験が「まったくなかった」割合は84.7%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では63.3%、困窮層(n=56)では12.5%、生活満足低位(n=148)では59.5%。【中学2年生保護者問23】

(セ) 過去1年の間に料金・家賃等の不払いの有無

a. 電話料金

- 「電話料金」について支払えないことが「あった」と回答した割合は、5歳児保護者では1.8%、小学5年生保護者では1.0%、中学2年生保護者では1.9%。【5歳児保護者問30A】【小中学生保護者問24A】

b. 家賃

- 5歳児保護者では、「家賃」について支払えないことが「あった」と回答した割合は1.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では12.0%、困窮層(n=59)では33.9%。【5歳児保護者問30E】
- 小学5年生保護者では、「家賃」について支払えないことが「あった」割合は1.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では8.1%、困窮層(n=44)では18.2%。【小学5年生保護者問24E】

- 中学2年生保護者では、「家賃」について支払えないことが「あった」割合は 1.1%、困窮層(n=56)では 12.5%。【中学2年生保護者問 24E】

(ソ) 子どもの進学に関する保護者の希望

- 5 歳児保護者の子どもの進学への希望についてみると、全体では、「大学またはそれ以上」が 73.6%、「まだわからない」が 16.8%。ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では、「大学またはそれ以上」が 49.3%、「まだわからない」が 29.3%。困窮層(n=59)では、「大学またはそれ以上」が 42.4%、「まだわからない」が 35.6%。生活満足 低位(n=181)では、「大学またはそれ以上」が 59.7%、「まだわからない」が 22.1%。【5 歳児保護者問 18】
- 小学5年生保護者の子どもの進学への希望についてみると、全体では、大学またはそれ以上」が 73.6%、「まだわからない」が 14.6%。ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では、「大学またはそれ以上」が 62.8%、「まだわからない」が 14.0%。困窮層(n=44)では、「大学またはそれ以上」が 40.9%、「まだわからない」が 20.5%。生活満足 低位(n=160) では、「大学またはそれ以上」が 59.4%、「まだわからない」が 20.0%。【小学5年生保護者問 12】
- 中学2年生保護者の子どもの進学への希望についてみると、全体では、「大学またはそれ以上」が 74.9%、「まだわからない」が 11.2%。前回調査と比較すると「大学またはそれ以上」の割合が 6.8 ポイント増加。ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「大学またはそれ以上」が 59.5%、「まだわからない」が 12.7%。困窮層(n=56)では、「大学またはそれ以上」が 44.6%、「まだわからない」が 21.4%。生活満足 低位(n=148)では、「大学またはそれ以上」が 63.5%、「まだわからない」が 12.8%。【中学2年生保護者問12】

(タ) 母親の最終学歴（最後に通った学校）

- 5 歳児の母親の最終学歴は、「大学」が 46.7%と最も多く、以下、「高専、短大、専門学校等」が 33.3%、「高等学校」が 11.8%。ひとり親世帯(2世代同居)(n=72)、困窮層(n=57)、生活満足 低位(n=179)では、「高専、短大、専門学校等」が最も多くなっていた。【5 歳児保護者問 33】
- 小学5年生の母親の最終学歴は、「大学」が 41.0%と最も多く、「高専、短大、専門学校等」が 39.0%、「高等学校」が 13.6%。前回調査と比較すると、「大学」と回答した割合が 7.8 ポイント増加、「高専、短大、専門学校等」と回答した割合は 7.6 ポイント減少。ひとり親世帯(2世代同居)(n=71)では、「高専、短大、専門学校等」が最も多く、困窮層(n=41)では「高等学校」が最も多く、生活満足 低位(n=155)では、「高専、短大、専門学校等」が最も多くなっていた。【小学5年生保護者問 27】
- 中学2年生の母親の最終学歴は、「高専、短大、専門学校等」が 40.4%と最も多く、「大学」が 36.9%、「高等学校」が 16.7%。ひとり親世帯(2世代同居)(n=67)では、「高専、短大、専門学校等」が最も多く、困窮層(n=51)では、「高等学校」が最も多く、生活満足 低位(n=143)では、「高専、短大、専門学校等」が最も多くなっていた。【中学2年生保護者問 27】

(チ) 父親の最終学歴（最後に通った学校）

- 5歳児の父親の最終学歴は、「大学」が49.9%と最も多く、以下、「大学院」が15.9%、「高専、短大、専門学校等」が15.5%。困窮層(n=43)では「高等学校」が最も多い。【5歳児保護者問34】
- 小学5年生の父親の最終学歴は、「大学」が51.9%と最も多く、「大学院」が15.5%、「高等学校」が14.5%。【小学5年生保護者問28】
- 中学2年生の父親の最終学歴は、「大学」が50.3%と最も多く、「高等学校」が17.1%、「高専、短大、専門学校等」が16.3%。困窮層(n=36)では、「高等学校」「高専、短大、専門学校等」が最も多くなっていた。【中学2年生保護者問28】

イ 保護者の悩み事・相談相手

(ア) 子育てに関する悩みごと

- 子育てに関する悩みごととして、5歳児保護者では、「子どもの教育費」が31.5%、「子どもの食事や栄養管理」が19.8%で多くなっていた。「子どもの教育費」について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では57.3%、困窮層(n=59)では86.4%、生活満足 低位(n=181)では58.6%。【5歳児保護者問19】
- 小学5年生保護者では、「子どもの進学や受験が心配」が29.5%、「子どもの教育費」が26.5%で多くなっていた。「子どもの教育費」について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では51.2%、困窮層(n=44)では81.8%、生活満足 低位(n=160)では58.8%。【小学5年生保護者問13】
- 中学2年生保護者では、「子どもの進学や受験が心配」が47.3%と最も多く、次に「子どもの教育費」が32.0%となっていた。「子どもの進学や受験が心配」について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では54.4%、困窮層(n=56)では69.6%、生活満足 低位(n=148)では67.6%。【中学2年生保護者問13】

(イ) 支えてくれる人・手伝ってくれる人

a. 心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人

- 5歳児保護者について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」が「いない」割合は全体で4.0%、困窮層(n=59)では13.6%、生活満足 低位(n=181)では15.5%。【5歳児保護者24A】
- 小学5年生保護者について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」が「いない」割合は全体で5.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では19.8%、困窮層(n=44)では20.5%、生活満足 低位(n=160)では20.0%。【小学5年生保護者問17A】
- 中学2年生保護者について、「心配ごとや悩みごとを親身になって聞いてくれる人」が「いない」割合は全体で6.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では19.0%、困窮層(n=56)では23.2%、生活満足 低位(n=148)では18.9%。【中学2年生保護者問17A】

b. 子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人

- 5歳児保護者について、「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」が「いない」割合についてみると、6.5%、困窮層(n=59)では18.6%、生活満足 低位(n=181)では22.1%。【5歳児保護者 24B】
- 小学5年生保護者について、「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」が「いない」割合は全体で7.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では18.6%、生活満足 低位(n=160)では22.5%。【小学5年生保護者問 17B】
- 中学2年生保護者について、「子どもとの関わりについて、適切な助言をしてくれる人」が「いない」割合は全体で9.3%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では24.1%、困窮層(n=56)では26.8%、生活満足 低位(n=148)では27.0%。【中学2年生保護者問 17B】

c. いざという時のお金の援助を頼める人

- 5歳児保護者について、「いざという時のお金の援助を頼める人」が「いない」割合は全体で12.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では34.7%、困窮層(n=59)では54.2%、生活満足 低位(n=181)では39.2%。【5歳児保護者 24F】
- 小学5年生保護者について、「いざという時のお金の援助を頼める人」が「いない」割合は全体で11.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では24.4%、困窮層(n=44)では38.6%、生活満足 低位(n=160)では29.4%。【小学5年生保護者問 17F】
- 中学2年生保護者について、「いざという時のお金の援助を頼める人」が「いない」割合は全体で15.3%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では35.4%、困窮層(n=56)では60.7%、生活満足 低位(n=148)では43.2%。【中学2年生保護者問 17F】

(ウ) 相談相手・相談先

- 5歳児保護者の相談相手・相談先について、「配偶者・パートナー」が84.8%と最も多く、以下、「自分や配偶者の親」が71.0%、「友人・知人」が58.3%。「相談できる相手がない」と回答した割合は、全体が1.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では6.7%、困窮層(n=59)では8.5%、生活満足 低位(n=181)では7.2%。【5歳児保護者問 25】
- 小学5年生保護者の相談相手・相談先について、「配偶者・パートナー」が80.8%と最も多く、「自分や配偶者の親」が67.3%、「友人・知人」が57.6%。「相談できる相手がない」と回答した割合は、全体が1.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では5.8%、困窮層(n=44)では11.4%、生活満足 低位(n=160)では10.0%。【小学5年生保護者問 18】
- 中学2年生保護者の相談相手・相談先について、「配偶者・パートナー」が77.9%と最も多く、「自分や配偶者の親」が62.7%、「友人・知人」が57.7%。「相談できる相手がない」と回答した割合は、全体が1.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では10.1%、困窮層(n=56)では10.7%、生活満足 低位(n=148)では7.4%。【中学2年生保護者問 18】

(エ) 子どもが生まれてからの経験

- 5歳児保護者では、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が15.6%、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」が12.9%。「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」割合について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では25.3%、困窮層(n=58)が34.5%、生活満足 低位(n=180)では30.0%。【5歳児保護者問 35】
- 小学5年生保護者では、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が12.9%、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」が11.4%。「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」割合について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では24.4%、困窮層(n=44)では15.9%、生活満足 低位(n=159)では26.4%。【小学5年生保護者問 29】
- 中学2年生保護者では、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が13.7%、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」が12.3%。「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」割合について、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では20.3%、困窮層(n=55)では36.4%、生活満足 低位(n=147)では25.9%。【中学2年生保護者問 29】

ウ 保護者のウェルビーイング

(ア) 保護者の健康状態

- 5歳児保護者では、自分の健康状態が「よい」と回答した割合は、全体では47.2%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では32.0%、困窮層(n=59)では33.9%、生活満足 低位(n=181)では18.2%。【5歳児保護者問 21】
- 小学5年生保護者では、自分の健康状態が「よい」と回答した割合は、全体では45.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では38.4%、困窮層(n=44)では11.4%、生活満足 低位(n=160)では13.1%。【小学5年生保護者問 15】
- 中学2年生保護者では、自分の健康状態が「よい」と回答した割合は、全体では37.9%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では38.0%、困窮層(n=56)では19.6%、生活満足 低位(n=148)では13.5%。【中学2年生保護者問 15】

(イ) 過去1か月の間のこころの状態

a. 自分は価値のない人間だと感じたか

- 5歳児保護者では、「自分は価値のない人間だと感じたか」について「全くない」と回答した割合は、全体では75.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では54.7%、困窮層(n=59)では40.7%、生活満足 低位(n=181)では43.1%。【5歳児保護者問 22F】
- 小学5年生保護者では、「自分は価値のない人間だと感じたか」について「全くない」と回答した割合は、全体では74.2%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では60.5%、困窮層(n=44)では36.4%、生活満足 低位(n=160)では41.3%。【小学5年生保護者問 16F】

- 中学2年生保護者では、「自分は価値のない人間だと感じたか」について「全くない」と回答した割合は、全体では 70.6%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 50.6%、困窮層(n=56)では 37.5%、生活満足 低位(n=148) では 35.1%。【中学2年生保護者問 16F】

(ウ) 過去 1 か月間のこころの状態 (K 6 尺度得点)

- 5歳児保護者で K6尺度の得点が 10 点以上(心理的苦痛を感じている)の割合は、全体が 11.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=75)では 25.3%、困窮層(n=59)では 42.3%、生活満足 低位(n=181)では 43.6%。【5歳児保護者問 22 をもとに算出】
- 小学5年生保護者で K6尺度の得点が 10 点以上(心理的苦痛を感じている)の割合は、全体が 10.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86) では 27.9%、困窮層(n=44)では 50.0%、生活満足 低位(n=160) では 39.4%。【小学5年生保護者問 16 をもとに算出】
- 中学2年生保護者で K6尺度の得点が 10 点以上(心理的苦痛を感じている)の割合は、全体が 13.1%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 29.2%、困窮層(n=56)では 42.8%、生活満足 低位(n=148) では 47.3%。【中学2年生保護者問 16 をもとに算出】

工 保護者の意見

(ア) 支援制度等への興味

- 家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所
 - 小学5年生保護者の「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 18.9%、「興味がある」が 25.5%。【小学5年生保護者問 30A】
 - 中学2年生保護者の「家以外で、お子さんが平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 8.4%、「興味がある」が 13.7%。【中学2年生保護者問 30A】
- 家以外で、お子さんが休日にいることができる場所
 - 小学5年生保護者の「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 13.5%、「興味がある」が 26.6%。【小学5年生保護者問 30C】
 - 中学2年生保護者の「家以外で、お子さんが休日にいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 8.3%、「興味がある」が 21.5%。【中学2年生保護者問 30C】
- お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所
 - 小学5年生保護者の「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 23.3%、「興味がある」が 31.3%。【小学5年生保護者問 30E】
 - 中学2年生保護者の「お子さんが家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 24.0%、「興味がある」が 31.3%。【中学2年生保護者問 30E】

d. 地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所

- 小学5年生保護者の「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 33.5%「興味がある」が 37.0%。【小学5年生保護者問 30F】
- 中学2年生保護者の「地域の人や大学生がお子さんの勉強を無料でみてくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 33.2%、「興味がある」が 34.6%。【中学2年生保護者問 30F】

e. 学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所

- 小学5年生保護者の「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 21.5%、「興味がある」が 53.6%。【小学5年生保護者問 30G】
- 中学2年生保護者の「学校以外でお子さんがなんでも相談できる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 19.6%、「興味がある」が 50.4%。【中学2年生保護者問 30G】

f. お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス

- 小学5年生保護者の「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」についての回答は、「使ってみたい」が 32.3%「興味がある」が 31.1%。【小学5年生保護者問 30H】
- 中学2年生保護者の「お子さん向けの夏休みの昼ごはんを、安価に配食等してくれるサービス」についての回答は、「使ってみたい」が 24.5%、「興味がある」が 29.7%。【中学2年生保護者問 30H】

(イ) 子育て（教育を含む）の悩み・あるとよい周囲からのサポート（自由記述）

- 5歳児の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ、「保護者の就労、子育てとの両立に関する悩み・支援」が最も多かった。また、「一時預かり(ファミリーサポートセンター、病児保育含む)」「学童・放課後児童クラブに関する要望」等の子どもの預け先に関する意見や、子育て世帯への経済的支援、家計の悩みも多く挙げられた。(意見を提出した人数 957件)【5歳児保護者問 36】
- 小学5年生の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ「子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援」「子育て世帯への経済的支援、家計の悩み」等の子育てに関連する経済的な悩みや要望、「長期休暇・休日の子どもの居場所」「子どもの居場所(子どもの家、児童館、図書館、体育館など含む)」「学校の敷地内での子どもの居場所・学校の開放」「学童・放課後児童クラブに関する要望」等、子どもの居場所に関する意見が多く挙げられた。(意見を提出した人数 459件)【小学5年生保護者問 31】
- 中学2年生の保護者に対し、子育て(教育を含む)の悩み・あるとよい周囲からのサポートを尋ねたところ、「子どもの教育、進学、教育費に関する悩み・支援」「子育て世帯への経済的支援、家計の悩み」等の子育てに関連する経済的な悩みや要望、「学校教育の充実(相談・SC含む)」「いじめ・登校しぶり・不登校」等、学校や教育に関する意見が多く挙げられた。(意見を提出した人数 323件)【中学2年生保護者問 31】

(2) 子どもの状況

ア 子どもの生活状況

(ア) 平日の朝食の摂取状況

- 5歳児の子どもについて、平日の朝食を「いつも食べる(週に5日)」のは全体の95.7%。【5歳児保護者問6】
- 小学5年生の子どもについて、平日の朝食を「いつも食べる(週に5日)」のは全体の92.8%。【小学5年生子ども問2】
- 中学2年生の子どもについて、平日の朝食を「いつも食べる(週に5日)」のは全体の90.2%。【中学2年生子ども問2】

(イ) 平日の朝食の相手

- 小学5年生の子どもについて、平日の朝食を「ひとりで食べる」のは全体の18.4%、生活満足 低位(n=85)では30.6%。【小学5年生子ども問3】
- 中学2年生の子どもについて、平日の朝食を「ひとりで食べる」のは全体の36.8%、困窮層(n=56)では48.2%、生活満足 低位(n=133)では53.4%。【中学2年生子ども問3】

(ウ) 放課後を過ごす相手

- 小学5年生の子どもが放課後を過ごす相手について、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が38.6%と最も多く、以下、「友だち」が22.8%、「おうちの人以外の大人(塾・習い事の先生や、児童クラブの指導員、近所の大人など)」が12.4%。前回調査と比較すると、「友だち」と回答した割合は5.2ポイント減少。【小学5年生子ども問4】
- 中学2年生の子どもが放課後を過ごす相手について、「部活動の仲間」が51.7%と最も多く、以下、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」が20.5%、「ひとりでいる」が9.1%。前回調査と比較すると、「部活動の仲間」は16.2ポイント減少し、「おうちの大人の人(お母さん・お父さん・祖父母・親せきなど)」は6.3ポイント増加、「ひとりでいる」は4.6ポイント増加。「ひとりでいる」割合は、困窮層(n=56)では12.5%、生活満足 低位(n=133)では20.3%。【中学2年生子ども問4】

(エ) 就寝時間

- 小学5年生の子どもについて、「毎日、同じぐらいの時間に寝ている」と回答した割合は、全体で48.5%、生活満足 低位(n=85)では34.1%。【小学5年生子ども問8】
- 中学2年生の子どもについて、「毎日、同じぐらいの時間に寝ている」と回答した割合は、全体で38.1%、生活満足 低位(n=133)では25.6%。【中学2年生子ども問8】

(オ) 夏休みの昼食

- 小学5年生の子どもについて、夏休みの昼食を「いつも食べていた(週に7日)」と回答した割合は、全体で91.9%、生活満足 低位(n=85)では78.8%。【小学5年生子ども問9】

- 中学2年生の子どもについて、夏休みの昼食を「いつも食べていた(週に7日)」と回答した割合は、全体で84.4%。【中学2年生子ども問9】

(カ) 安心できる場所

- 小学5年生の子どもが安心できる居場所については、「自分の家や祖父母、親せきなどの家」が80.5%と最も多く、以下、「自分の部屋」が53.5%、「学校」が38.7%。「ほっとできる場所がない」と回答した割合は全体が1.3%、生活満足 低位(n=85)では10.6%。【小学5年生子ども問12】
- 中学2年生の子どもが安心できる居場所については、「自分の部屋」が77.4%と最も多く、以下、「自分の家や祖父母、親せきなどの家」が65.7%、「学校(部活動など)」が36.6%。「ほっとできる場所はない」と回答した割合は全体が1.2%、生活満足 低位(n=133)では6.8%。【中学2年生子ども問12】

(キ) 家事や家族の世話

- 小学5年生の子どもについて、大人が行うような家事や家族の世話を「している」のは全体が30.0%、生活満足 低位(n=85)では44.7%。【小学5年生子ども問13】
家事や家族の世話をする中での経験として、「自分の時間が取れない」が5.9%、「宿題など勉強する時間がない」が4.3%。生活満足 低位(n=38)では、「自分の時間が取れない」が26.3%、「宿題など勉強する時間がない」が15.8%。【小学5年生子ども問13-5】
- 中学2年生の子どもについて、大人が行うような家事や家族の世話を「している」のは全体が26.3%。【中学2年生子ども問13】
家事や家族の世話をする中での経験として、「自分の時間が取れない」が10.6%、「宿題など勉強する時間がない」が6.0%。生活満足 低位(n=26)では、「自分の時間が取れない」が34.6%、「宿題など勉強する時間がない」が23.1%。【中学2年生子ども問13-5】

(ク) 携帯電話・スマートフォンの使用状況

- 小学5年生の子どもについて、自分が使える「けいたい電話・スマートフォン」が「ある」と回答した割合は60.7%で、「ない(ほしい)」は29.3%。前回調査と比較すると、「ある」と回答した割合は10.4ポイント増加した。【小学5年生子ども問14H】
「ある」と回答した方が、スマートフォンを平日3時間以上使用する割合は、13.2%。【小学5年生子ども問15】
「ある」と回答した方について、家庭内での携帯電話・スマートフォンの利用の「ルールを決めている」のは75.3%。【小学5年生子ども問15-1】
「ルールを決めている」と回答した方について、ルールを「いつも守っている」と回答した割合は53.4%。【小学5年生子ども問15-2】
- 中学2年生の子どもについて、自分が使える「けいたい電話・スマートフォン」が「ある」と回答した割合は90.5%、「ない(ほしい)」が6.8%。前回調査と比較すると、「ある」と回答した割合は11.4ポイント増加。【中学2年生子ども問14H】

「ある」と回答した方が、スマートフォンを平日3時間以上使用する割合は、33.8%【中学2年生子ども問 15】

「ある」と回答した方について、家庭内での携帯電話・スマートフォンの利用の「ルールを決めている」のは 69.4%。【中学2年生子ども問 15-1】

「ルールを決めている」と回答した方について、ルールを「いつも守っている」と回答した割合は 38.6%。【中学2年生子ども問 15-2】

(ケ) ゲームの使用状況

- 小学5年生の子どもについて、「多くの友だちが持っているゲーム機」が「ある」が 82.1%、「ない(ほしい)」が 6.7%。【小学5年生子ども問 14G】

「ある」と回答した方が、ゲームを平日3時間以上する割合は、17.4%。【小学5年生子ども問 16】

「ある」と回答した方について、家庭内でのゲームで遊ぶ際の「ルールを決めている」のは 57.3%。【小学5年生子ども問 16-1】

「ルールを決めている」と回答した方について、ルールを「いつも守っている」と回答した割合は 42.5%。【小学5年生子ども問 16-2】

- 中学2年生の子どもについて、「多くの友だちが持っているゲーム機」が「ある」が 82.9%、「ない(ほしい)」が 4.5%。【中学2年生子ども問 14G】

「ある」と回答した方が、ゲームを平日3時間以上する割合は、16.5%。【中学2年生子ども問 16】

「ある」と回答した方について、家庭内でのゲームで遊ぶ際の「ルールを決めている」のは 48.8%。【中学2年生子ども問 16-1】

「ルールを決めている」と回答した方について、ルールを「いつも守っている」と回答した割合は 42.9%。【中学2年生子ども問 16-2】

イ 子どもの学校生活・学習状況

(ア) 物理的なはく奪（学習環境）

a. 自分の家で学習をすることができる場所

- 小学5年生の子どもでは、「自分の家で学習をすることができる場所」が「ある」と回答した割合は 92.5%、「ない(ほしい)」が 3.3%、困窮層(n=44)では「ない(ほしい)」が 11.4%。【小学5年生子ども問 14A】
- 中学2年生の子どもでは、「自分の家で学習をすることができる場所」が「ある」と回答した割合は 95.4%、「ない(ほしい)」が 2.5%。困窮層(n=56)では「ない(ほしい)」が 8.9%。【中学2年生子ども問 14A】

b. (自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット

- 小学5年生の子どもでは、「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」について、「ある」が 77.9%。「ない(ほしい)」の回答割合は、全体が 12.2%、困窮層(n=44)では 29.5%、生活満足 低位(n=85)では 24.7%。【小学5年生子ども問 14F】
- 中学2年生の子どもでは、「(自分の家で)インターネットにつながるパソコンやタブレット」について、「ある」が 84.3%。「ない(ほしい)」の回答割合は、全体が 8.8%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 16.5%、困窮層(n=56)では 25.0%、生活満足 低位(n=133)では 16.5%。【中学2年生子ども問 14F】

(イ) 授業の理解度

- 小学5年生の子どもについて、学校の授業が「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した割合の合計は、全体で 5.5%、困窮層(n=44)では 15.9%、生活満足 低位(n=85)では 18.8%。【小学5年生子ども問 18】
「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した方について、学校の授業がわからなくなった時期は、「5年生になってから」が 24.4%と最も多く、以下、「4年生のころ」が 18.9%、「3年生のころ」「わからない」がそれぞれ 15.6%。【小学5年生子ども問 18-1】
- 中学2年生の子どもについて、学校の授業が「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した割合の合計は、全体で 8.0%、困窮層(n=56)では 33.9%、生活満足 低位(n=133)では 23.3%。【中学2年生子ども問 18】
「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と回答した方について、学校の授業がわからなくなった時期は、「中学1年生のころ」が 38.0%と最も多く、以下、「小学5・6年生のころ」が 21.7%、「中学2年生になってから」が 15.2%。【中学2年生子ども問 18-1】

(ウ) 家庭での学習状況

- 小学5年生の子どもについて、学校の宿題を「している」と回答した割合は、全体では 84.1%、困窮層(n=44)では 70.5%、生活満足 低位(n=85)では 69.4%。【小学5年生子ども問 19A】
- 中学2年生の子どもについて、学校の宿題を「している」と回答した割合は、全体では 52.5%、生活満足 低位(n=133)では、「している」が 37.6%。【中学2年生子ども問 19A】

(エ) 平日の学校以外での勉強時間

- 小学5年生の子どもについて、平日の学校以外での勉強時間(1日あたり)について「まったくしない」と回答した割合は、全体では 7.1%、困窮層(n=44)では 20.5%。【小学5年生子ども問 20】
- 中学2年生の子どもについて、平日の学校以外での勉強時間(1日あたり)について「まったくしない」と回答した割合は、全体では 8.5%、困窮層(n=56)では 23.2%。【中学2年生子ども問 20】

(オ) 学校への遅刻の頻度

- 小学5年生の子どもについて、学校への「遅刻はしない」と回答した割合は 78.5%、生活満足 低位(n=85)では 56.5%。【小学5年生子ども問 21】

- 中学2年生の子どもについて、学校への「遅刻はしない」と回答した割合は 77.2%、前回調査と比較すると、6.1 ポイント減少。ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「遅刻はしない」が 68.4%、困窮層(n=56)66.1%、生活満足 低位(n=133)では 68.4%。【中学2年生子ども問 21】

(カ) 将来の夢

- 小学5年生の子どもについて、将来の夢が「ない」と回答した割合は 30.3%。前回調査と比較すると、「ない」と回答した割合は 5.3 ポイント増加。生活満足 低位(n=85)では「ない」が 42.4%。【小学5年生子ども問 22】

「ない」と回答した方について、夢がない理由を尋ねると「具体的に、何も思いうかばないから」が 60.6%、「わからない」が 18.3%、「夢がかなうのがむずかしいと思うから」が 12.4%。【小学5年生子ども問 22-2】

- 中学2年生の子どもについて、将来の夢が「ない」と回答した割合は 53.7%。前回調査と比較すると、「ない」と回答した割合は 10.9 ポイント増加。【中学2年生子ども問 22】

「ない」と回答した方について、夢がない理由を尋ねると「具体的に、何も思いうかばないから」が 67.8%と最も多く、以下、「わからない」が 15.0%、「夢がかなうのがむずかしいと思うから」が 11.7%。【中学2年生子ども問 22-2】

(キ) 進学意向

- 中学2年生の子どもの進学意向については、「大学またはそれ以上」が 58.1%、「まだわからない」が 21.8%。前回調査と比較すると、「まだわからない」と回答した割合は 5.5 ポイント増加。ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「大学またはそれ以上」が 48.1%、「まだわからない」が 25.3%。困窮層(n=56)では、「大学またはそれ以上」が 35.7%、「まだわからない」が 32.1%。生活満足 低位(n=133)では、「大学またはそれ以上」が 48.1%、「まだわからない」が 27.8%。【中学2年生子ども問 23】

(ク) 不登校傾向等

a. 学校に行きたくないと思った

- 小学5年生子どもが「学校に行きたくないと思った」ことが「よくあった」「時々あった」と回答した割合の合計は 45.4%。前回調査と比較すると、「よくあった」「時々あった」と回答した割合の合計は 14.3ポイント増加。生活満足 低位(n=85)では、「よくあった」「時々あった」の合計が 77.6%。【小学5年生子ども問 27A】
- 中学2年生の子どもが「学校に行きたくないと思った」ことが「よくあった」「時々あった」と回答した割合の合計は 51.6%。前回調査と比較すると、「よくあった」「時々あった」と回答した割合の合計は 10.5 ポイント増加。生活満足 低位(n=133)では、「よくあった」「時々あった」の合計が 81.2%。【中学2年生子ども問 28A】

b. いじめられた経験

- 小学5年生子どもが「いじめられた」ことが「なかった」と回答した割合は 63.1%。前回調査と比較すると、「なかった」と回答した割合は 7.5 ポイント減少。生活満足 低位(n=85)では、「なかった」が 32.9%。【小学5年生子ども問 27C】
- 中学2年生の子どもが「いじめられた」ことが「なかった」と回答した割合は72.6%。生活満足 低位(n=133)では、「なかった」が 54.1%。【中学2年生子ども問 28C】

ウ 子どものウェルビーイング

(ア) 健康状態

- 小学5年生の子どもについて、自身の健康状態については、「よい」の割合は、全体で 51.5%、困窮層(n=44)では 38.6%、生活満足 低位(n=85)では 29.4%。【小学5年生子ども問 10】
- 中学2年生の子どもについて、自身の健康状態については、「よい」の割合は、全体で 39.5%、生活満足 低位(n=133)では 14.3%。【中学2年生子ども問 10】

(イ) 虫歯

- 5 歳児の子どもについて、「虫歯になったことがない」の割合は、全体で 74.0%、困窮層(n=59)では 64.4%。【5 歳児保護者問 13】
- 小学5年生の子どもについて、「虫歯になったことがない」が 42.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では 31.4%、困窮層(n=44)では 31.8%。【小学5年生子ども問 11】
- 中学2年生の子どもについて、「虫歯になったことがない」が 40.2%、困窮層(n=56)では 32.1%。【中学2年生子ども問 11】

(ウ) 自己についての認識

a. 自分のことが好きだ

- 小学5年生の子どもについて、「自分のことが好きだ」と、「とても思う」「思う」の合計が 64.7%。前回調査と比較すると、自分のことが好きだ(「とても思う」「思う」の合計)と回答した割合は 6.0 ポイント増加した。【小学5年生子ども問 24A】
- 中学2年生の子どもについて、「自分のことが好きだ」と、「とても思う」「思う」の合計が 56.0%。前回調査と比較すると、自分のことが好きだ(「とても思う」「思う」の合計)と回答した割合は 7.6 ポイント増加。【中学2年生子ども問 25A】

b. ひとりぼっちだと感じることもある

- 小学5年生の子どもについて、「ひとりぼっちだと感じることもある」と、「とても思う」が全体では 6.0%、生活満足 低位(n=85)では、22.4%。【小学5年生子ども問 24E】
- 中学2年生の子どもについて、「ひとりぼっちだと感じることもある」と、「とても思う」が全体では 7.7%。【中学2年生子ども問 25E】

c. 自分は価値のある人間だと思う

- 小学5年生の子どもについて、「自分は価値のある人間だと思う」と、「思わない」と回答した割合は全体では10.6%、生活満足 低位(n=85)では40.0%。【小学5年生子ども問 24H】
- 中学2年生の子どもについて、「自分は価値のある人間だと思う」と、「思わない」と回答した割合は全体では12.7%、生活満足 低位(n=133)では36.1%。【中学2年生子ども問 25H】

エ 子どもの悩み事・相談相手

(ア) 悩み等の相談相手

- 小学5年生の子どもの悩み等の相談相手については、「お母さん・お父さん」が75.2%と最も多く、以下、「学校の友だち」が47.0%、「担任の先生」が21.5%。生活満足 低位(n=85)では、「お母さん・お父さん」が50.6%と最も多く、以下、「学校の友だち」が30.6%、「だれにも相談したくない・できない」が29.4%。【小学5年生子ども問 25】
- 中学2年生の子どもの悩み等の相談相手については、「お母さん・お父さん」が57.9%と最も多く、以下、「学校の友だち」が57.6%、「きょうだい」が16.5%。生活満足 低位(n=133)では、「学校の友だち」が39.8%と最も多く、以下、「お母さん・お父さん」が33.8%、「だれにも相談したくない・できない」が26.3%。【中学2年生子ども問 26】

(イ) 自分や家族についての心配ごとや困っていること

- 小学5年生の子どもについて、自分や家族についての心配ごとや困っていることで「特に困っていることはない」が全体では75.7%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では70.9%、困窮層(n=44)では54.5%、生活満足 低位(n=85)では48.2%。
悩みごとの内容では、「家の中が散らかっている」が11.6%、「きょうだいの世話やめんどうをみるのが大変」が5.5%。【小学5年生子ども問 28】
- 中学2年生の子どもについて、自分や家族についての心配ごとや困っていること「特に困っていることはない」が全体では69.4%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では62.0%、困窮層(n=56)では42.9%、生活満足 低位(n=133)では46.6%。
悩みごとの内容では、「家の中が散らかっている」が11.3%、「家で落ち着いて勉強できない」が7.8%。【中学2年生子ども問 29】

(ウ) 学校での困りごと

- 小学5年生の子どもについて、学校での困りごとについて「特に困っていることはない」と回答した割合は、全体では67.3%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では60.5%、困窮層(n=44)では56.8%、生活満足 低位(n=85)では31.8%。
悩みごとの内容では、全体では、「将来(進路)のことが不安」が11.5%、「悩みがあっても大人の人にうまく相談できない」が9.3%。
ひとり親世帯(2世代同居)(n=86)では、「将来(進路)のことが不安」「勉強がよくわからない」がそれぞれ15.1%。

困窮層(n=44)では、「勉強がよくわからない」が 25.0%、「同学年の人との関係がうまくいっていない」「将来(進路)のことが不安」がそれぞれ 13.6%。

生活満足 低位(n=85)では、「悩みがあっても大人の人とうまく相談できない」が 28.2%、「将来(進路)のことが不安」が 25.9%。【小学5年生子ども問 29】

- 中学2年生の子どもについて、学校での困りごとについて「特に困っていることはない」と回答した割合は、全体では 50.0%、ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では 46.8%、困窮層(n=56)では 42.9%、生活満足 低位(n=133)では 26.3%。

悩みごとの内容では、全体では、「将来(進路)のことが不安」が 33.6%、「勉強がよくわからない」が 15.7%。

ひとり親世帯(2世代同居)(n=79)では、「将来(進路)のことが不安」が 36.7%、「勉強がよくわからない」が 25.3%。

困窮層(n=56)では、「将来(進路)のことが不安」が 39.3%、「勉強がよくわからない」が 35.7%。生活満足 低位(n=133)では、「将来(進路)のことが不安」が 50.4%と最も多く、以下、「勉強がよくわからない」が 31.6%、「同学年の人との関係がうまくいっていない」「悩みがあっても大人の人とうまく相談できない」がそれぞれ 30.1%。【中学2年生子ども問 30】

オ 子どもの意見

(ア) 支援制度等への興味

a. 家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所

- 小学5年生子どもの「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 24.8%、「興味がある」が 30.2%。前回調査と比較すると、「使ってみたい」「興味がある」と回答した割合の合計は 11.5 ポイント増加。【小学5年生子ども問 26A】
- 中学2年生子どもの「家以外で、平日の放課後に夕方 6 時までいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 16.2%、「興味がある」が 24.9%。前回調査と比較すると、「使ってみたい」「興味がある」と回答した割合の合計は 5.1 ポイント増加。【中学2年生子ども問 27A】

b. 家以外で休日にいることができる場所

- 小学5年生子どもの「家以外で休日にいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 26.3%、「興味がある」が 28.3%。前回調査と比較すると、「使ってみたい」「興味がある」と回答した割合の合計は 12.1ポイント増加。【小学5年生子ども問 26C】
- 中学2年生子どもの「家以外で休日にいることができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が 21.5%、「興味がある」が 28.5%。前回調査と比較すると、「使ってみたい」「興味がある」と回答した割合の合計は 7.0 ポイント増加。【中学2年生子ども問 27C】

c. 家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所

- 小学5年生子どもの「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が29.0%、「興味がある」が24.1%。【小学5年生子ども問26E】
- 中学2年生子どもの「家で勉強できない時、静かに勉強ができる場所」についての回答は、「使ってみたい」が31.2%、「興味がある」が28.2%。【中学2年生子ども問27E】

d. 地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所

- 小学5年生子どもの「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が19.2%、「興味がある」が25.1%。【小学5年生子ども問26F】
- 中学2年生子どもの「地域の人や大学生が、勉強を無料でみてくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が21.6%、「興味がある」が26.0%。【中学2年生子ども問27F】

e. 学校以外で、なんでも相談できる場所

- 小学5年生子どもの「学校以外で、なんでも相談できる場所」についての回答は、「使ってみたい」が15.5%、「興味がある」が26.3%。【小学5年生子ども問26G】
- 中学2年生子どもの「学校以外で、なんでも相談できる場所」についての回答は、「使ってみたい」が13.0%、「興味がある」が21.1%。【中学2年生子ども問27G】

f. 夏休みの間、昼ご飯を出してくれる場所

- 小学5年生子どもの「夏休みの間、昼ご飯を出してくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が20.0%、「興味がある」が20.8%。【小学5年生子ども問26H】
- 中学2年生子どもの「夏休みの間、昼ご飯を出してくれる場所」についての回答は、「使ってみたい」が12.9%、「興味がある」が18.5%。【中学2年生子ども問27H】

(イ) 市へ意見を伝えやすい方法

- 小学5年生の子どもについて、市へ意見を伝えやすい方法として、「紙のアンケートに回答する」が51.8%と最も多く、次いで「インターネット上のアンケートに回答する」が26.9%。【小学5年生子ども問31】
- 中学2年生の子どもについて、市へ意見を伝えやすい方法として、「インターネット上のアンケートに回答する」が52.5%と最も多く、次いで「紙のアンケートに回答する」が43.8%、「LINEなどのSNSのチャットに意見を言う」が28.6%。【中学2年生子ども問32】

(ウ) 悩んでいる子どものために必要なこと・困っていること（自由記述）

- 小学5年生の子ども自由記述(意見を提出した人数331件)で、「悩んでいる子どものために必要なこと」に関する意見では、「気軽に悩み相談できる場所・工夫」「学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策」「居場所・安らげる場」に関する意見が多くなっていた。「あなたが困っていること」に関する記述内容は、「友達との関係・いじめ・人間関係の悩み」「勉強・授業・宿題・

学校生活全般の悩み」「家族・家に関する悩み」についての意見が多くなっていた。【小学5年生子ども問 30】

- 中学2年生の子どもの自由記述(意見を提出した人数 353 件)で「悩んでいる子どものために必要なこと」に関する意見では、「学校内(先生・スクールカウンセラー等)の相談・いじめ・不登校対策」「気軽に悩み相談できる場所・工夫」「周囲が気付く・寄り添う・声を掛ける」「居場所・安らげる場」に関する意見が多くなっていた。「あなたが困っていること」に関する記述内容は、「勉強・授業・学校生活全般の悩み」「学校のルール・制度・施設・設備のこと」「友達との関係・いじめ・人間関係の悩み」についての意見が多くなっていた。【中学2年生子ども問 31】